

# SCOUTING

2018  
No.723  
1



なろう。一人前に。  
キャンペーン実施中

特集

## PR活動計画

# 10万人の力をひとつに。

### 年頭所感

### 新春名刺交換



CONTENTS

02 年頭所感 奥島孝康理事長  
大学ローバースの新しい展開へ

04 年頭所感 膳師功日本連盟コミッショナー  
「ポジティブ宣言」  
スカウティングは野外で明るく楽しくやるぞ!

06 第17回日本スカウトジャンボリー (17NSJ)  
大会情報

08 PR 活動計画  
10万人の力をひとつに。

12 今年の主な行事

13 平成30年度 国際交流事業計画(案)

14 スカウトと社会をつなぐ場所

16 全国防災キャラバン

17 ニッポン全国元気団紹介【特別編】  
ボーイスカウト鹿児島県連盟野営場  
野下野外活動センター

18 世界のスカウト人口

19 エッセイ

19 信仰奨励

20 日本連盟創立100周年に向けて  
ボーイスカウト再興への道  
(1) 今こそ取り組みを始めよう!

21 セーフ・フロム・ハームの取り組み

22 スカウティングとウッドクラフト③  
シートン『ウッドクラフトとインディアン』の伝承  
でふり返る、「スカウティングの9つの指針」

24 報告 RCJフォーラム2017

25 野外活動のための安心・安全講座  
冬の事故に関する大人に向けた啓発

26 ローカルホットライン

27 平成29年7月大雨災害  
義援金・見舞金・支援金

28 日本連盟情報

28 スカウティングの知っててちょっと良い話(46)

29 維持会員

29 第45回 全国ボーイスカウト写真コンテスト  
作品募集

30 新春名刺交換

39 スカウトショップ



**I スカウト募集は  
ビーバーだけではない**

ボーイスカウト運動では、いま磯山友幸理事の率いる社会連携・広報委員会による「PR活動計画」が注目をあびている。その大要は、ぜひとも『スカウティング』誌の2017年5月号 (No.719) 6、7頁を見てほしい。誰もが思いつく易しいプランではあるが、きわめて効果的のみならず、説得的なガイドである。

こうしたすばらしい提案がこれまで出てこなかったこと自体が驚きであり、現在のスカウト運動の混迷を示している。理由はいろいろあろうが、この30年間、スカウト理論は熱心にいろいろ語られてきたものの、〈ラーニン

グ・パイ・ドゥーイング〉というスカウト運動の基本は忘れられてきた。そこで、ぼくのささやかな試みを例に、誰でもできるスカウト再生の運動を示してみたい。

**II 大学生のぼくが  
ローバー隊で置かれた状況**

1959年、早稲田大学法学部に入学したばかりは、キャンパス内のビラでローバー隊が存在することを知って勇躍入隊した。ところが、なぜか呼集がまるでかからない。同期入隊の知人に聞いてみたら、「わが隊は『自隊主義』

年頭所感

# 大学ローバーズの 新しい展開へ

日本連盟理事長

奥島孝康

(当時は「原隊主義」といわれていた)であるから当然のことだ」と言われた。ぼくにはその言葉は、「お前のような田舎者には早大ローバーズに入る資格はない」と言われたように思われた。では、早大ローバーズはなんのために存在するのであろう！年に2回情報交換のために会合するためであろうか。もっとも、当時の大学ローバーズのほとんどは同じようなものだったようである。当時、ぼくは毎日アルバイトで生活をやっと支えている状態ではあったが、それでもボーイスカウト大好き人間のぼくは、可能なかぎり続けようと思っていた。しかし60年安保運動もあって、2年生で連絡は途絶えた。あれこれ努力したが、手がかりがなく、ぼくはまるで「排除」されたような気分だった。

ところが、研究者として長くスカウト運動から遠ざかっていたぼくが、定年後に偶然にスカウトに復帰してみると、明治大学や立教大学ではスカウト未経験の初心者も入隊でき、大学ローバーズが活況を呈していることを知った。加えて、母校の早稲田大学でも、その創設60周年に招かれて出かけてみると、女性隊員も加わり、人数も増えて様子が一変している。聞いてみると自隊主義を棄てて、通常のスカウト隊と同じく、大学ローバーズとして本来の活動を始めたことを知り、母校スカウトがようやくスカウト精神に目覚めたことを喜び、これからの発展を祝した。それにしても、誇らしげに自隊主義を標榜していた最近までの早大生たちは、「ぼくは早大スカウトだが、原則として隊活動はしないのだ」というスカウト隊にどういう意味を見出していたのだろうか。

### Ⅲ ローバースカウトの 戦略的な位置を再考しよう

スカウト活動は「運動」であって「学問」ではない。学問は「事実の探求」であるが、運動は「理想の追求・実現」である。どんなに物知りになろうとも、「ベターワールド」を実現するための「日々の善行」という実践がともなわなければスカウトではない。スカウトたらんとする人間は「世のため、人のために汗を流す人間」を目指さなければならないのだ。

それゆえ、そうした公共心を養う必要を真剣に考え、そのための行動をするためには、大学受験でスカウト活動の必要性を考える心の余裕を失っている者と比べれば、大学生という比較的心の余裕をもっている者にはスカウト活動の重要性を考えることができるはずだ。何事も遅すぎるといえることはない。それどころか、スカウト未経験の、初心者がスカウト運動に目覚めることは歓迎すべきことである。とりわけ、若手指導者が不足している現状では、こうした若者を発掘する意義は大きい。

こう考えたぼくは、ぼくが学長を務める白鷗大学で学生にスカウト募集を呼びかけてみた。その結果は、ぼくが入院中のため直接募集を手伝えなかったにもかかわらず、32人が入隊し、小山第6団「白鷗ローバーズ」が発足した(『スカウティング』誌2017年11月号[No.722]16頁参照)。32人(男性17人、女性15人)中、経験者は男女各1人だった。応募者は100人を超えたが、活動条件等の理由により、32人ではあったが、来年へ大きな期待を残した。

ぼくがそうだったように、大学生になってもスカウトを目指す者は、決して少なくはない。

### Ⅳ スカウト再生へあらゆる 作戦をたてて実行しよう

現在、スカウト運動の衰退は、とりわけ、地方で顕著である。このままでは、スカウトゼロは、県レベルでさえ発生しかねない。これを阻止するためには、猫の手も借りたい。ここでは、大学ローバーズを取り上げたが、それだけでは決してない。スカウト運動がアウトドア訓練を中心に組み立てられるべきものであるならば、地方あるいは田舎こそが盛んになるはずではないのか。

もとより、スカウト再建の途は大学ローバーズの活躍だけではない。そのため、社会連携・広報委員会が悪戦苦闘している。しかし、この問題は、スカウト全員があらゆる方法を工夫し、取り組むべき課題である。大学ローバーズは、そうした方策の中でも、若手指導者育成の上でも、活動する時間上でも教職課程の課題遂行上でも、大きな可能性をもつスカウト活動ではないか。その第一歩として、地方大学に働きかけて、大学ローバーズ創設をはかろうではないか。

もともとスカウト運動は、自主的な活動であり、「楽しいゲーム」である。その活動は自分たちの仲間を増やすための活動だけではない。さまざまな工夫・提案があってよい。いまこそ、それを思い出し、あらゆる手段で楽しい仲間を増やし、あらゆる工夫でベターワールドをつくるためにがんばろうではないか。死して後もスカウトであることを誓ったことを思い出して、もう一度わがスカウト運動に初心から取り組もうではないか。

➡ PR活動計画に関しては8頁をご覧ください



年頭所感

# 「ポジティブ宣言」 スカウティングは 野外で明るく楽しくや

日本連盟コミッショナー

膳 師 功

## はじめに

ボーイスカウト活動は、スカウトにとって魅力的で大変楽しいものであります。

皆さんの隊・団では、指導者もスカウトも楽しく活動ができていますか。今、私たちの周辺ではスカウト数が減少した、班活動がまともにできない、長期キャンプができないなどとネガティブ談議が多い。それは、やめよう。いくら愚痴をいっても改善はできません。それならば改善策を議論し、将来の明るい夢を想像しながらポジティブにスカウティングをしよう。

## 子どもたちを野外へ

本来、子どもは自然の中での木登りや虫取り

など冒険遊びが大好きなはずが、社会環境の変化によってその機会が失われてきています。子どもたちは、塾に習い事に部活動にと大変忙しいのです。多くの親は、少しでも、自分の子に投資し続けているのが実態と思われます。これが悪いとは誰も思いません。でも人によっては、夜遅くまで塾に行かせるのは児童虐待ではないかという人もいます。こんな今こそ、ボーイスカウトの価値が理解され、本運動に参加することで子どもに投資してほしいと思うのはスカウト員<sup>びい</sup>私だけでしょうか。

私は、学校や塾は知識を得るところ、ボーイスカウト活動は、応用を体得したり、社会で役立つ技能や方法を修得したりするところだと思っています。ご承知のとおり、ボーイスカウト

は3つの優位性をもった教育です。班制教育、進歩制度、野外活動がそれです。まずは、班の成否に悩むなら、野外での活動を重視し、山とか森へ出かけよう。自然に触れることで、「感覚」を鋭くし、観察と推理の能力をも伸ばすだろう。野外料理は最高。キャンプするならなお最高。基本的な生活術が修得できる。料理ができれば家庭でお手伝いもできるし、不得意なら家庭で教えてもらうこともできる。進歩の一歩だ。ロープを学べば家庭で新聞紙を束ねて結ぶお手伝いもできる。応用の始まりだ。技能の習熟ができて、家庭でのお手伝いをするならば、保護者は大喜びだろう。山遊びをし、虫取りをし、いっぱい遊んでお手伝いをする。この状況を保護者が喜ばないはずがない。

指導者は、子どもたちが野外で、満面の笑みを放つよう、楽しい遊びと技能の習熟、そしてお手伝いに繋がる方法を「方向づけ」しましょう。

### あなたの能力を子どものために

スカウティングの主役はスカウトである。指導者であるあなたは、スカウトに集会で楽しく満足してもらおうとするなら、遊びの本質を追

# るぞ!

求しみんなの知恵を集約しよう。特に、スカウト一人ひとりの性格などをよく知っていると、プログラムを深みのある内容にすることができます。活動では、子どもの興味を活用し、プログラムを提供できることが大切です。まずは、スカウトをその気にさせる仕組みを作る。そのためにリーダー会議でスカウトの喜ぶ姿を想像しながら、「ああしたら、びっくりするぞ」「こうしたら喜ぶぞ」と意見を出し合って詳細な最終プログラムを完成させる。もちろん下見もする。隊集会では、事前に集会のための雰囲気作りをする。本を読み、その情景を醸し出したり、想定文でスカウトの気持ちを高めたりする。集会という名のゲームが開幕となる。集会では動き回るスカウトの顔がある。ワ

クワクワするのはスカウトも指導者も同じだ。終了後は進歩課目が修得できるというおまけ(実は狙い)もついている。スカウトが「メチャ面白かった」と言えば最高の勲章だ。この繰り返しの感動が隊指導者の宝物だ。この繰り返しをポジティブにやろう。これが「ポジティブ宣言」だ。でも、仮にあなたに悩みがあれば、身近なコミッショナーに相談し、早めに対策を打ちましょう。必ずヒットが打てるでしょう。コミッショナーは、あなたの最大の味方です。しっかり連携して助けてくれるでしょう。

もう一つ、しっかりと自分を見つめよう。悩む人は特に見つめよう。「自分は何のためにボランティアをしているのか」ということである。目的をはっきりと見極めて活動することが必要です。一番大切なのは心(マインド)であり、自らが情熱をもって先頭に立ち、動き出すという意気込みです。まず、実践しましょう。

### 第17回日本スカウトジャンボリーに行こう!

今年、石川県珠洲市で開催するジャンボリーは、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画の「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会です。

このジャンボリーの最大の目玉は、自団の隊のまま参加できる方式にしたことです。これによって参加を希望するスカウトが自隊の指導者と一緒に参加でき、普段の仲間との班編成で活動ができます。もちろん、団の盛り上がり、大会に向けた取り組み、やってみたいBigなプログラムにもチャレンジでき、外国スカウトや多くの仲間と交流できるなど、いつもの仲間とともに、さまざまな夢が一度に叶うこととなります。さらに、他のスカウトや参加隊に刺激され、スカウトの意欲をかき立て、進歩向上や隊運営に良い影響を与えます。また保護者の意識変革による組織拡大にもつながると思います。なお、今回の会場は海に近い場所ということもあり、希望の多い海のプログラムも多く取り入れたいと考えています。

参加費については、最近のジャンボリー費用としては、社会の変動、物価高騰からみても非常に安価に設定しています。これは、多くの参加者を期待する日本連盟の姿勢であります。ぜひ、自隊参加によって多くのスカウトに感動の体験してほしいと願っています。

どうか皆さん、今年の夏、スカウトとともに珠洲で会いましょう。お待ちしております。



# 17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

いよいよ  
ジャンボリー開催年！

## 第17回日本スカウトジャンボリー(17NSJ) 大会情報

【会期】 2018(平成30)年8月4日(土)～10日(金)

【会場】 石川県珠洲市「りふれっしゅ村録ヶ崎」

【テーマ】 「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」

いよいよ今夏、17NSJを開催します。  
今月号は、外国派遣団の情報やサブキャンプマーク、  
そして開催地珠洲市についてご紹介します。

### ■外国スカウトの受け入れについて

現在、アジア太平洋地域やアメリカ連盟、その他の地域に対して参加を呼びかけており、約600人の参加を見込んでいます。

各サブキャンプの規模に応じた人数になりますが、1つのサブキャンプに約40人～260人を配属し、日本参加者40人(1区画)あたり2～3人の外国スカウトを受け入れていただき、ともに生活などをさせていただく予定です。



### ■確定申し込みについて

昨年締め切った参加予定申し込みでは11,355人(2017年12月14日時点)の申し込みがありました。1月下旬より、確定申し込みを開始しますので、今後の大会ホームページや県連盟の情報をご参照ください。予定申し込みがお済みの方は、参加費の残金(1人あたり30,000円)を添えて、所属県連盟にご提出ください。

また、確定申し込みからの申し込みについては、所属県連盟との調整を経て、参加費総額40,000円を添えて所属県連盟を通じて申込書をお送りください。皆さまのご参加をお待ちしています。

#### 参加確定申し込み

所属県連盟締切

4月10日(火) または所属県連盟からの連絡による

日本連盟締切

4月20日(金)

## 開催地「珠洲市」

古くは出雲・佐渡・蝦夷をつなぐ海洋交通の関門だった珠洲市は、古代能登文化の発祥の地と考えられています。能登国の成立後、越中国司の相伴家持が訪れた際には、「珠洲の海に朝びらきして漕ぎ来れば長浜の浦に月照りにけり」と珠洲湾の光景を詠んでいます。その後も平時忠がこの地に配流になったり、珠洲焼の窯が開かれたりと、珠洲はさまざまな歴史物語の舞台となりました。

珠洲市では、2003(平成15)年に第9回日本アグーナリーを、2006(平成18)年に第14回日本ジャンボリーを開催しました。

### ●主な観光地

見附島／見附島は自然が造り出した高さ約28mの無人島。島の形が大きな軍艦のような形をしているところから、別名「軍艦島」



とも呼ばれており、珠洲、そして能登半島を象徴する景勝地として知られています。

また、金剛崎の「青の洞窟」や、朝日と夕日を見ることができる禄剛埼灯台など、海にまつわる観光地がとても人気です。

### ●特産品

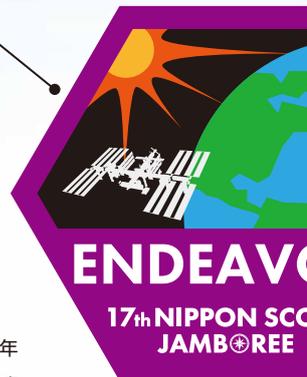
加能ガニや岩牡蠣などの海の幸をはじめ、能登牛、なども有



Fサブキャンプ  
フューチャー  
【未来】



Eサブキャンプ  
エンデバー  
【努力】



Dサブキャンプ  
ディスカバリー  
【発見】





※今後変更することもあります。

## サブキャンプについて

サブキャンプは、前号でお知らせした名称に加え、デザインのコンセプト案も完成いたしました。また、サブキャンプエリアは下記の緑のところ。各サブキャンプの区分けは、今後お知らせしていきます。



## 現在調整中の事項

### ● 備品の輸送について

現在、備品の輸送に関して日本通運とJRコンテナやJITBOXでの輸送など、さまざまな調整を行っています。輸送については決まり次第、皆さまにお知らせいたします。

### ● ジャンボリー新聞や情報の発信に関して

今回のジャンボリーでは、ジャンボリー新聞は印刷・配布をせず、参加者の皆さんをはじめ、多くの方に見ていただけるよう、WEB等で配信します。また、日本連盟の公式SNS等でもさまざまな情報を発信していくほか、現在スマートフォン用のアプリも計画中です。最新の情報は、公式サイトや日本連盟SNSをご覧ください。



※画像はイメージです。



## ジャンボリーグッズも続々登場!

ジャンボリーの楽しみの1つでもあるジャンボリーグッズ。いよいよ開催年となり、ワッペンやピンバッジなどの製作が始まっています。詳しくはスカウトショップの頁(39頁)をご覧ください。



各種情報は大会ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/17nsj/>

名です。また、「揚げ浜式製塩法」による塩はともて人気があり、全国で販売されています。

### ● 能登のキリコ祭り

7月から10月にかけて能登半島の百数十を超える地区でお祭りが行われます。その中でも、奥能登で発祥し、中能登の方へ伝播していった「キリコ祭り」は、この地に生まれ育った人々にとって特別な祭礼で、現在では「日本遺産」に認定されています。キリコとは、切子灯籠を縮めた略称で、ところによっては奉燈、御明かしとも

呼ばれています。

かつては笹に御神灯をつけていた笹キリコから、4本柱が木製に変わり、漆や金箔、彫刻が施されるようになり、高さや豪華さを競ったことから、地域ごとに特色のあるキリコが出現したものと思われ、キリコは神輿のお供役として担ぎだされ、



無事に御旅所に着くか、入宮になるまでの夜道の灯りの役目があります。

東京・ボーイスカウト会館には、開催県の石川県連盟寄贈の「ジャンボリー特製キリコ模型」を展示しておりますので、お越しの際は、ぜひご覧ください!



# PR活動計画 10万人の力をひとつに。

ボーイスカウト日本連盟では、長年の加盟員の減少に歯止めをかけ、加盟員増の波によって2022年の連盟創立100周年を迎えるべく、広く社会に向けたPR活動に本腰を入れて取り組んでいます。

2018年に入り、PR活動のためのさまざまな素材が出そろい、再度皆さんにご紹介するとともに、その他の取り組みもご紹介していきます。改めて加盟員10万人の力をひとつにし、ボーイスカウトをPRしていきましょう！

## 「なろう。一人前に。」 キャンペーン

多くの皆さんにシェアしていただいております「なろう。一人前に。」キャンペーン。動画の再生総数はなんと70万回を超え、そのうちの大多数の方がキャンペーンサイトを訪問してくださっています。これはまさに皆さんのご協力があってこそ。まもなくすべての動画が出そろいますので、改めてここですべての動画コンテンツやキャンペーンサイトをご紹介します。

キャッチフレーズ

## 「なろう。一人前に。」

【ターゲット】

ビーバー・カブのお母さん世代

## キャンペーンサイト

このキャンペーンの受け皿であり、全国すべての団を繋ぐこのキャンペーンサイト。昨今、情報はインターネットで調べることが当たり前になり、検索に引っかからないものは「存在しない物」と判断されてしまいます。このキャンペーンサイトは、現在ホームページがない団も検索することができ、すべての団に対して、ボーイスカウトの活動に興味がある人が気軽に「直接」問い合わせができるシステムになっています。

## 現在の団情報の掲載率

**78%** (2017年12月14日現在)

現在、このサイトには、すべての団名の掲載がありますが、各団の詳細なデータは全国

約2,100ご団のうち、1,600ご団弱しかありません。キャンペーンサイトをチェックしていただき、データ掲載の申請・更新をお願いいたします。掲載方法は、ご所属の都道府県連盟までお問い合わせください。

## Instagramの アカウント開設！

Youtube、Facebook、Twitterに加え、新たにInstagramのアカウントを開設しました。WEBサイト等での情報発信とはまた違った角度から、さまざまな活動やボーイスカウト運動についての様子や雰囲気、主に写真でお届けしていきます。

アカウントをお持ちの方でしたら携帯やパソコンからの閲覧やコメントが可能ですので、ぜひご覧ください。



Instagram 公式アカウント  
**scout\_association\_of\_japan**  
(Instagram)

## 一人前研究所開設

このキャンペーンの一環として、「一人前」について皆さんとともに考えて研究する「一人前研究所」を1月11日に開設予定です。参加型のコンテンツとする予定で、皆さんの考える「一人前」、子どもが考える「一人前」など、さまざまな「一人前」を募集します。日本連盟のSNSアカウント等で詳細を発信していきますので、お見逃しなく！



## ■「なろう。一人前に。」キャンペ

### ターゲット



### 潜在層

ボーイスカウトの名前を知っている。  
または、まったく知らない。

### 準顕在層

ボーイスカウトについて興味がある。子どもに体験させてみたい。

### 顕在層

子どもを入隊させたい。

## 入 隊

## 統一のイメージに！

私たちボーイスカウトは世の中からどのように見られているのでしょうか。ブランド価値を高め、多くの方にボーイスカウトを知っていただけるように、皆さんとともに取り組みを行っています。

例えば「なろう。一人前に。」というキャッチ

フレーズ。これは、私たちの活動の理念を一般の人にも分かりやすくしたものです。こういった標語や見え方の統一は、ボーイスカウトを広報していく上でとても大切なことです。

日本連盟ホームページに、コミュニケーションロゴをはじめ、さまざまな広報用素材をまとめた特設サイトを作成しました。チラシの作成やホームページの作成に。また、ムービーなどは保護者会などで……

各団等でご利用いただき、統一したイメージ

で徹底的に発信していきましょう！



(主な掲載コンテンツ)

- ブランドガイド
- コミュニケーションロゴ
- ムービー
- ポスター
- 広報用の出版物データ

## 統一基本概念と動画

## 施策目的

## 認知向上

HERO  
動画

驚きや面白さによりSNSやWEBメディアで注目されるなどの、認知拡大を目的にしたコンテンツ。



楽しく子育て！  
お父さんお母さん必見！  
「一人前かるた」

なろう。一人前に。  
～夏休み編～

## 【適切な相手・場所】

まだボーイスカウトを知らない人向け。SNSでのシェア、地域のイベントなどでの上映が最適です。

## 欲求喚起

HUB  
動画

ニーズを掘り起こし、正しい理解を促すなど、ターゲットの関心をボーイスカウトに繋ぐコンテンツ。



一人前ってなんだろう？  
ボーイスカウトが伝えたいこと。

## 【適切な相手・場所】

ボーイスカウトを知っている人、興味がある人向け。SNS上での拡散はもちろん、体験入隊会などでの上映も入隊への促進に繋がります。

子どもがボーイスカウトに参加している保護者の方に、入団したきっかけや保護者の関わり方、おすすめのポイントなどをインタビューした動画。

## 入隊促進

HELP  
動画

顕在化したニーズに応え、保護者の声、指導者の気持ちなど、安心から入隊希望に繋ぐコンテンツ。



ボーイスカウト保護者インタビュー



**NEW**  
おしえてボーイスカウト  
一歩一歩・カブ隊編



著名人インタビュー動画(仮) / 公開日: 2018年2月を予定

## 【適切な相手・場所】

ボーイスカウトの入団を考えている人やすでに加入している保護者向け。実際の説明会での上映は、入団の決め手に繋がり、保護者会等での使用は中途退団防止にもなります。

キャンペーン  
サイト

各層の方に見ていただきたい動画の掲載などにより、理解をより深め、各団へ直接ターゲットを繋ぎ、入隊までの流れをスムーズにする。

活動への関心

## 100周年ロゴ紹介!

2022年に迎える連盟創立100周年まで、残すところ4年となりました。記念行事やさまざまなプログラムを現在計画中ですが、これらに先駆け、100周年ロゴをご紹介します。

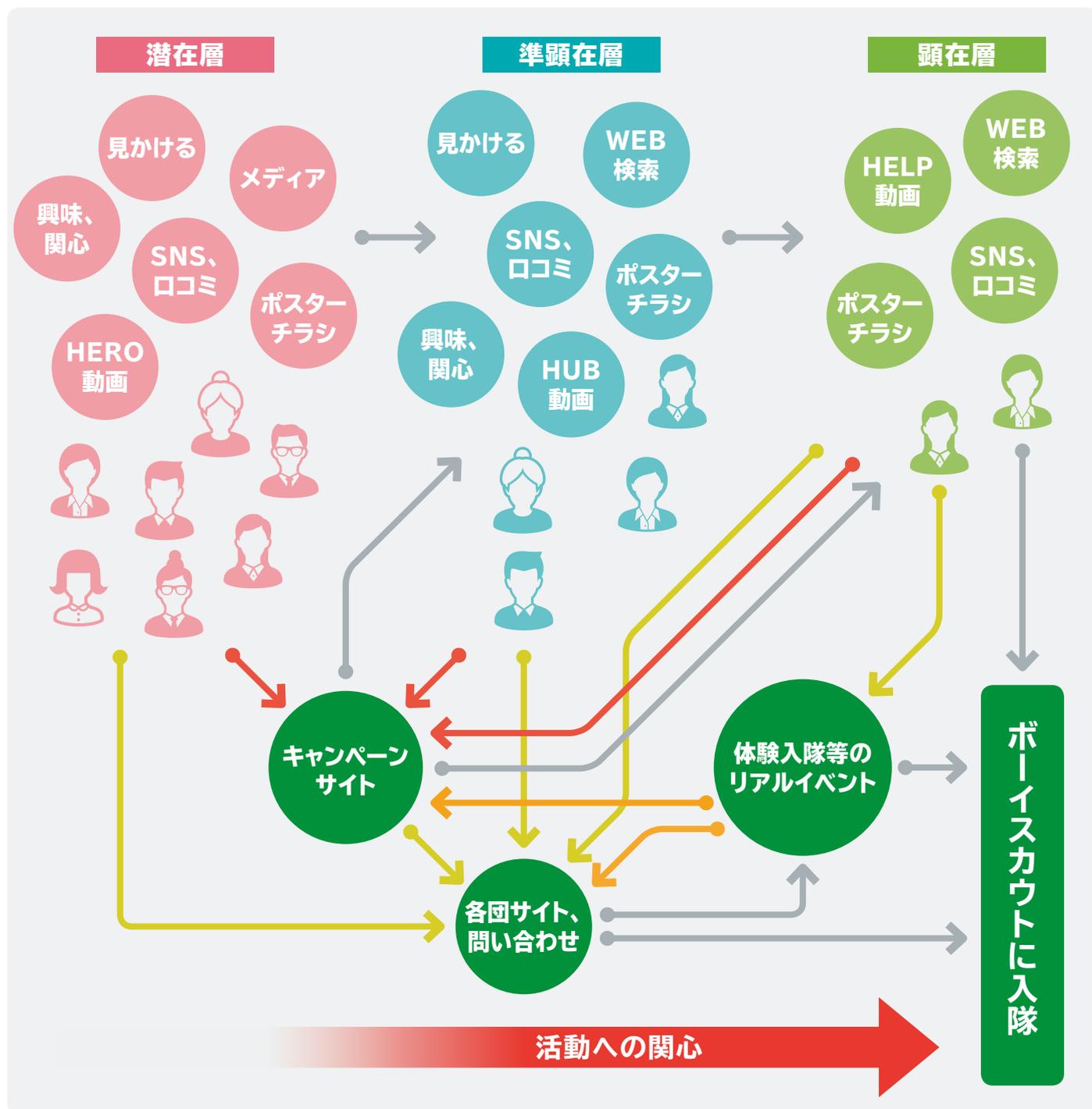
このロゴも、ダウンロードセンターからデータを取得できますので、ぜひ名刺や団のホームページなどに掲載していただき、100周年に向け、皆さん一緒に盛り上げていきましょう!



## リアルイベントの開催

イオングループのご協力のもと、2016年より継続して行っている「全国防災キャラバン」。防災について一般の方々に考えていただくのはもちろんのこと、ボーイスカウトについて知っていただく機会でもあります。2017年はなんと全国69会場での開催となり、2万人以上の方々にボーイスカウトをPRすることができました。また、地元新聞やテレビ等にも

## ■ターゲットの行動



数多く取り上げられました。夏にはボーイスカウト・アンバサダーの野口聡一 JAXA 宇宙飛行士をお迎えして特別イベントも開催。皆さま、ご協力ありがとうございました。

防災キャラバンは、来年度も継続して行います。こうしたボーイスカウトと一般の方を繋ぐリアルイベントも数多く開催できるようにご協力ください。防災キャラバンの詳しい報告は16頁をご覧ください。



## 制服を着て、どんどん外に！

WEB 上での展開は  
もちろんのこと、  
さまざまな場  
所でボーイスカ  
ウトの姿を見て  
いただくことも、ボー  
イスカウトをPRする上  
で、なくてはなら  
ないものです。



「最近ではボーイスカウトを見なくなった」とご意見をいただくこともあります。ぜひ各団・隊で多くの方にボーイスカウトを見ていただく機会を増やしていただけたらと思います。

例えば、地域のお祭りやイベントの奉仕などはPRの絶好の機会となりますが、このほかに、集会を慣れ親しんだ場所のみではなく、多くの子どもたちが集まる場所や人出が多く目立つ場所に変更することもPRに繋がりますし、集会の行き帰り、そして指導者の皆さんは円卓やリーダー会議のときにも家から制服を着て行くことで、格段にボーイスカウトの存在感が各地域で強くなります。

もちろん、今は1月でとても寒い季節であり、上着は必須ですが、シンボルであるハットをカバンやケースから出し、被るだけでも

「あ、ボーイスカウトだ!」とあっていただき、興味を引けるのではないのでしょうか。

## ボーイスカウトラッピング 自動販売機登場！



全国のコカ・コーラ各社のご協力で、この度、ボーイスカウトのラッピングをした自動販売機が完成しました。「こんなの待っていました」なんて声もいただいております。現在、東京・ボーイスカウト会館はもちろん、大阪でも設置していただきました(2017年12月現在)。また、多数お問い合わせいただいている状況です。

スカウトハウスの前や事業所など、さまざまな場所にこのラッピング自動販売機を置くことで、PRになります。また、PRのみならず、売上げの2割程度がボーイスカウトの財政支援にも繋がるのが特徴です。設置者の方の負担は電気代のみ。ラッピングの費用などもかかりません。皆さま、ぜひご検討ください。

### 自動販売機に関するお問い合わせ先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
事務局 社会連携・広報部  
電話：03-5805-2562 FAX：03-5805-2908  
Eメール：hello@scout.or.jp

※ 設置には審査があります。詳細は上記連絡先までお問い合わせください。

※ 埼玉県では独自のプログラムを行っていますので、埼玉県連盟事務局までお問い合わせください。



## 団のホームページ



皆さん、自分が欲しいものを購入するときや、やってみたいことを実行に移すとき、どのような手順を踏んでいますか？ テレビやラジオ、新聞、雑誌の4マスと呼ばれるメディアの影響力はまだまだ大きいですが、購入や申し込みをするときは、SNSやWEBを見て興味を引いたものを検索したり口コミを見たりして検討、購入に至るか、もしくはそれを発信するか。そしてそれを他のだれかが見て、また検索を始める流れが非常に強くなってきています。

そこで肝心なのが、各隊・団のホームページです。キャンペーンサイトで一時的には全団の情報を見ることができそうですが、検索する人は興味があるほうへリンクしていきます。

ここで検索者の目線に戻りますが、皆さんが検索する場合、サイトが古かったり、更新がなかったり、リンク先がないサイトから購入などをしようと思いませんか？ それは、ボーイスカウトを検索してくれている人も同じことです。

現在、どのような支援ができるか準備中ではありますが、簡単にホームページやSNSページを作ることができる世の中です。ぜひ、各団のホームページの見直しを行ってください。



さまざまな取り組みを一挙にご紹介しましたが、肝心なことは、加盟員10万人が力を合わせることで、保護者などを合わせれば、実に多くの方がこの活動に携わっていることとなります。

皆さんのインターネット上でのシェアはもちろん、団の広報活動や地域との連携などがなくては、このPR計画は広がりを見せません。充分ではないかもしれませんが、さまざまな素材を用意いたしました。ぜひこれらをご活用ください。この活動を大勢の方に知っていただき、より多くのメンバーを増やして活動を通じて明日が今日より少しでも良い世の中になるよう、ご協力よろしくお願いたします。

# 今年の主な行事

## 平成29年度

### 日韓スカウト交歓計画交流プログラム

1月6日(土)～8日(月・祝) / 福岡・グローバルアリーナ



平成11年より15年間実施した日韓交流計画を基に、日韓両国スカウト連盟は、両国を理解し、良好な関係を深めるために事業を再開することに合意し、日本連盟は「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)」、韓国連盟は「韓日スカウトフォーラム(日本からの派遣)」を再開。今年で3年目となります。

## 平成30年度全国大会

5月26日(土)～27日(日) /

岐阜・長良川国際会議場、他

社会へのスカウト運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、日本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として全国大会を開催します。



## 平成30年度スカウトの日

9月17日(月・祝) / 全国

毎年9月の第3月曜日は「スカウトの日」です。「スカウトの日」は、全国のスカウトと指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとしたさまざまな活動を全国各地において一斉に展開することで、地域社会への貢献とともに、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールすることを目的としています。



## 全国防災キャラバン2018

4月1日(日)～12月31日(月)(予定) / 全国

「そなえよつねに」の精神で、防災について考える機会を一般の方々に提供することを目的として、全国のイオンモール等で「全国防災キャラバン」を実施します。全国キャラバンは、イオングループのご協力により今年で4年目となります。



## 難民支援衣料回収プロジェクト2018

春:3月1日(木)～5月31日(木)

秋:9月1日(土)～10月31日(水) / 全国

世界の難民の人々の半数以上が18歳未満の子どもです。この現状を受け、株式会社ユニクロと UNHCR と連携し、難民支援のための衣料回収プロジェクトを春と秋に実施します。衣料の回収にご協力ください。



難民に、  
生きるための服を。

ユニクロ ボーイスカウト

# 2018

## 平成29年度富士スカウト代表表敬

3月(予定) / 東京

富士スカウトの代表表敬は、ボーイスカウト日本連盟創立60周年記念事業の一つとして行われたのが始まりでした。今年も実施を予定しています。



## 第17回日本スカウトジャンボリー

8月4日(土)～10日(金) /

石川・りふれっしゅ村鉢ヶ崎

日ごろ培ったスカウト技能などを基盤に、国内外のスカウト仲間との相互交流を通じて、冒険的で楽しい野外活動を行いながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指して開催。ボーイスカウト、ベンチャースカウトを中心に、国内外約13,000人が集まります。また、能登の豊かな風土と自然環境を活かし、地域社会との共生をはかりながら、スカウトたちを魅了するハイアドベンチャーの実践と新たな指導者の養成、確保の機会とします。



6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

# 2019



## 第9回アジア太平洋地域スカウトユースフォーラム

世界スカウト機構アジア太平洋地域主催事業

10月9日(火)～12日(金) / フィリピン

## 第26回アジア太平洋地域スカウト会議

世界スカウト機構アジア太平洋地域主催事業

10月15日(月)～20日(土) / フィリピン

## 第61回ジャンボリー・オン・ジ・エア (JOTA) 第22回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット (JOTI)

世界スカウト機構主催事業

10月19日(金)～21日(日) / 全世界

【JOTA】世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線行事に参加し、電波を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的としています。

【JOTI】世界スカウト機構が主催して行われる、比較的新しい、世界のスカウトの公式国際行事です。この「JOTI」は無線の代わりに、インターネットを利用して、JOTAと同じく、情報を交換して友好を深めようとするものです。



※詳細、名称、ロゴ等は今後変更になる場合があります

# 平成30年度 国際交流事業計画(案)

平成29年12月14日現在

## ●公募により実施する海外派遣事業

平成30年度の派遣事業として日本連盟が募集要項を作成し、公募により派遣員を選考し実施する予定のものは下記のとおりです。

No.	事業名	派遣予定期間(大会期間)		派遣の概要	募集対象				推 日 薦 締 切 連	
		派遣先(主な訪問先)	派遣予定人員		BS	VS	RS	L		
BS…ボーイスカウト VS…ベンチャースカウト RS…ローバースカウト L…指導者										
<b>■ 個人による海外派遣</b>										
1	平成30年度 カンダーシュテーク 夏季野営スタッフ派遣 ※	奉仕期間 6月上旬～9月上旬(3か月) スイス/カンダーシュテーク国際スカウトセンター 若干名	カンダーシュテーク国際スカウトセンターにおいて、夏季野営スタッフとして奉仕する		○	○			平成29年 12/10	自全 己負 担額
2	平成30年度 国際キャンプスタッフ計画派遣 ※	例：6月上旬～9月下旬(2～3か月) アメリカ合衆国各地(各地方協議会野営場) 若干名	アメリカ連盟各地方協議会野営場において、夏季野営スタッフとして奉仕する		○	○			1/20	自全 己負 担額
3	平成30年度 スカウト特別海外派遣 (霞会館補助事業)	個人プロジェクトによる 個人プロジェクトによる 最大2人	個人プロジェクトによる		○	○	○		3/30	補 会 助 館
4	平成30年度 スカウト・オーストラリア 短期留学(学習旅行)派遣	例：7/22～8/29(夏休み期間) オーストラリア(メルボルン、シドニー、パース、キャンベラ、ブリスベン等) 1～2人	オーストラリアの高校に短期留学(学習旅行)し、スカウト活動に参加する		○				3/30	自全 己負 担額

## ■ グループによる海外派遣

1	平成30年度 フィルモント派遣	例：7/20～8/8(7/23～8/3) 県連盟の計画による アメリカ合衆国/ニューメキシコ州 シマロン 県連盟によるクルー編成	アメリカ連盟ハイアドベンチャーベース・フィルモント野営場のトレイルに県連盟で編成したクルーで参加する		○	○	○		(希望県連盟 内で募集) L 1/20 VS, RS 4/10	自全 己負 担額
2	第9回アジア太平洋地域 スカウトユースフォーラム派遣 ※	10/8～10/13 または 10/8～10/21 (ユースフォーラムは10/9～12) フィリピン 10人以内	第9回アジア太平洋地域スカウトユースフォーラムに参加する(可能な者は10/15～10/20の第26回アジア太平洋地域スカウト会議にも出席する)		○	○			6/10	補 助 有
3	平成30年度 韓日スカウトフォーラム派遣	韓国連盟と調整中(8月実施見込み) 韓国 スカウト18人、指導者2人 計20人	両国スカウトによるスカウトフォーラムと地元見学またはホームステイ等の文化体験に参加する		○	○			3/30	自全 己負 担額
4	第5回 国際パトロールジャンボリー派遣	韓国連盟と調整中(8/2～7) 韓国・雪岳山 スカウト16人、指導者4人 合計20人	韓国で開催されるパトロールジャンボリーに参加する		○	○	○		3/30	自全 己負 担額
5	平成30年度 CJKベンチャープロジェクト派遣	3連盟で調整中(8月実施見込み) 台湾 スカウト9人、指導者1人 計10人	台湾、日本、韓国のベンチャースカウトを対象としたプロジェクトで、平成30年度は台湾で開催される		○	○			3/30	自全 己負 担額

## ■ 国際協力プログラム

1	平成30年度 CJK プロジェクト・ バングラデシュ派遣 ※	平成31年 2/12～2/23(平成31年 2/13～2/22) バングラデシュ スカウト10人、指導者1人 計11人	台湾、日本、韓国の3連盟ローバースカウトがバングラデシュで国際協力プロジェクトを行う。今回でバングラデシュでの開催は最後となる		○	○			10/10	自全 己負 担額
---	--------------------------------------	---	---	--	---	---	--	--	-------	----------------

## ■ 国際会議および指導者の研修のための海外派遣

1	第26回アジア太平洋地域 スカウト会議 日本代表団派遣	10/14～10/21(10/15～10/20) フィリピン 若干名	フィリピンで開催のアジア太平洋地域スカウト会議に代表6人、オブザーバーの派遣		○	○				関係会議を通じて案内(公募はしません)
---	-----------------------------------	--	--	--	---	---	--	--	--	---------------------

## ● 日本連盟主催外国スカウト受入事業

No.	名称	期間	内容・招へい国	対象	
1	第17回日本スカウトジャンボリー 外国スカウト特別招待計画 (補助事業申請中)	8/1～8/12 (調整中)	日本との交流が少ないスカウト連盟6か国程度を日本に招へいし、17NSJに参加してもらう	BS、VS、指導者	スカウト(各国2人)、指導者(各国1人) 合計18人程度
2	アイルランドローバースカウト 17NSJ 奉仕受入	8月(大会は8/4～8/10)	アイルランドのローバースカウトが17NSJでの奉仕をとおして日本のスカウトとの交流を行う	RS	アイルランドからローバースカウト10人
3	平成30年度 日韓スカウト交歓計画	平成31年1月 (調整中)	韓国のスカウトと交流プログラムに参加する	BS、VS	韓国、日本から各40人程度
4	平成30年度オーストラリア 短期交換留学スカウト受入	11月下旬～ 1月下旬	オーストラリア連盟よりスカウトを受け入れる。日本の高校に短期留学をし、スカウト活動に参加する	高校生年代のスカウト	オーストラリアからベンチャースカウト1～2人

※印は海外派遣貸付金対象事業

# スカウトと社会をつなぐ場所

ローバースカウトと同年代指導者を対象に、今年度、新しい事業が始まりました。



ローバースカウト年代では、多くのスカウトが成人・就職という2つの大きな節目を経験します。

ボーイスカウトにおいて最後の教育部門であるこの年代が、どのような「経験・思考・夢」をもって社会に出ていくかは、私たちの目指すべき青少年教育において非常に重要な課題です。

本事業は、スカウト運動の目指す「よりよき社会をつくる」ことに参加者自らがどのように貢献できるかを改めて考え、同年代の仲間たちとディスカッションする場として実施しており、毎回、社会の最前線で活躍する企業や団体の皆さまにご協力いただき、自身の経験や価値観、働くことの意義や社会で活躍するために必要な能力・考え方などをお話しいただいています。

企業がどのような理念に基づいて企業活動を行っているか、企業活動が社会や世界にどのような影響を与えているかについて、各回の参加者はさまざまなことを学んでいます。

## 第1回



日 時 | 平成29年2月24日(金) 18:00~20:00  
場 所 | 東京・ボーイスカウト会館  
ゲスト企業 | ミズノ株式会社  
テ - マ | 「社会で活躍するスカウトスピリット」  
(社会で活躍する人材に求められる5つの能力)

▶日本連盟副理事長にも就任いただいている同社の会長をゲストにお招きし、ボーイスカウトで身につけてきたことをいかに社会に役立てていくかをお話しいただきました。

## 第2回



日 時 | 平成29年3月28日(火) 18:00~20:00  
場 所 | 東京・文京シビックセンター会議室  
ゲスト企業 | 富士通株式会社  
テ - マ | 「社会人として期待されること」

▶同社には、「富士通スカウトクラブ」という任意の団体があり、スカウト経験者や現役の指導者が集まっています。今回は、人生の目的にフィットした仕事をみつけ、社会に貢献していくことの大切さをお話しいただきました。

## 第3回



日 時 | 平成29年6月27日(火) 18:00~20:00  
場 所 | 東京・ボーイスカウト会館  
ゲスト企業 | イオントップパリュ株式会社  
テ - マ | 「小売業と平和のつながり  
~これからの社会人に必要なこと~」

▶小売業の最大手である同社からゲストをお招きし、2015年の世界スカウトジャンボリーの話も交えながら、世界とつながっている一人ひとりが世界のことを考えて生きていく必要があるとお話しいただきました。

第4回



**日時** 平成29年8月5日(土) 10:00~11:30  
**場所** 日本連盟・大和の森 高萩スカウトフィールド  
**ゲスト企業** 大和ハウス工業株式会社  
**テーマ** 「社会に必要とされる人とは」

▶同社からの寄贈を受けてオープンした高萩スカウトフィールドを会場に、創設者から受け継いだ意志や企業としての理念をお話いただきました。

第5回



**日時** 平成29年11月1日(水) 18:00~20:00  
**場所** 東京・ボーイスカウト会館  
**ゲスト企業** リオ ティント ジャパン 株式会社  
**テーマ** 「外資系企業が求める人物像 ~資源と自然~」

▶世界三大資源メジャーの1つで鉱業と金属資源のパイオニアとされるリオティント社。その日本支社である同社には、外資系企業の視点からスカウト活動の経験がいかに社会で役立つかをお話いただきました。

## 参加者の声 (県連盟・イニシャル)

**Q** ゲストセッションで感じたこと

**A** 世界で活躍している方のお話を聞いたことが本当に貴重な機会になりました。(栃木・NK)

**Q** 企業からどのような話を聞きたいか

**A** キャリアアップについて。スカウト活動が社会の場で役立ったと感ずること。(静岡・MH)

**Q** グループワークで感じたこと

**A** 解決する問題が大きかったので、少々困惑したのですが、「グループの良さ、個人のアイデンティティーを生かす」という点で考えることで、自分では気がつかなかった自分の能力の社会での生かし方を知りうれしく思いました。(千葉・KS)

**Q** 参加した感想

**A** 今までの自分のスカウト活動にどのような意味があり、自分の成長にどのように影響してきたかを考えるきっかけになった。(東京・DW)

**A** 社会で生き抜くなかで大切なことはすべてスカウティングで行っていたことだとわかった。また、就活に生かせると感じたので、これからも積極的に参加したいと思った。(東京・TS)

**Q** 全体をとおして感じた印象

**A** 自主性を大切にされたプログラムが多かったと思いました。これまで経験してきたものと一味違った内容で、楽しく取り組めたと思います。(埼玉・DI)

## 県連盟主催事業の紹介

埼玉県連盟および愛知連盟では、ローバースカウトと県内維持会員を中心とした企業とを結びつける事業を実施しています。複数企業のご協力を得て、会社紹介やスカウトとの交流を行っており、優秀な人材に出会う機会を求めている企業と職業選択の岐路にあるスカウトの双方にとって魅力ある事業となっています。



愛知連盟での取り組み



第6回のゲスト企業は、「キッズニア東京・甲子園」を運営するKCJ GROUP株式会社を予定しております。

本事業は継続して定期的の実施いたします。特設サイトおよび日本連盟 Facebook で開催情報をご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/sst/>

全国69会場、  
約20,000人が参加！

# 全国防災 キャラバン

イオングループのご協力のもと、地域の子どもたちとその保護者を対象に、「防災」に関する知識やスキルを学ぶ「全国防災キャラバン」を2016年から実施。2017年は、県内で複数会場での開催を希望いただいたところも多く、全国のイオンモールやイオンショッピングセンターなど47都道府県69会場で開催できました。

実施期間 平成29年4月8日(土)～12月2日(土)  
主催 ボーイスカウト日本連盟、イオンモール株式会社  
共催 ボーイスカウト都道府県連盟、イオントップバリュ株式会社

## 各会場の取り組み



全国共通のプログラムである「防災について考えよう」「ブロック積み上げゲーム」のほか、災害時に役立つロープワークや救命救急などのボーイスカウトで培ったスキルを用いたプログラムや簡易担架、新聞スリッパなど便利グッズの作成体験を通じて、全国約2万人の参加者に、「防災」意識を高め、考える機会としていただくことができました。また、消防や赤十字のご協力による展示・体験コーナーなど、他団体や地域を巻き込んだオリジナルプログラムも展開され、地域との連携も強固にすることができました。

ほかにも、ベンチャースカウトやローバースカウトが中心になって運営したり、ネッカチーフをつけて体験することで参加者に仲間意識をもってもらったりと、会場それぞれで工夫が凝らされました。会場運営にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

### ● 熊本応援プログラム

九州・沖縄ブロックでは、熊本県連盟のローバースカウトによる企画で「震災体験談・被

災者応援メッセージ」を集めるブロック共通プログラムを実施し、多くのメッセージをいただきました。このメッセージは、3月に熊本で実施される大風揚げの凧につけ、大空に揚がる予定です。



## PRの側面も

全国防災キャラバンは、一般の方への「防災」について考えていただく場であるほか、各地域での組織拡充・広報活動という面もあります。

プレスリリースなどで地元メディアを通じて周知することもPRに効果的です。ですが、地域の中にボーイスカウトがある、ということを感じていただけるリアルイベントの実施こそが、組織拡充・広報活動になります。スカウトの制服姿や活動的な様子が、何にも勝るボーイスカウトのPRです。

実際に、「キャラバンを機に入団した」という報告もいただきました。多くの人の目に触れるところで活動ができるこの機会を、ぜひご活用ください。

### スペシャルイベント

**JAXA 宇宙飛行士  
野口聡一さんといっしょに  
防災について考えてみよう！**



ボーイスカウト・アンバサダーの野口 JAXA 宇宙飛行士がヒューストンより来日。このキャラバンを体験するスペシャルイベントを8月30日に千葉のイオンモール幕張新都心で開催。

トークショーでは、ボーイスカウトの体験が宇宙飛行士として役立ったこと、そして防災を意識するうえで大切なことなどをお話いただいたほか、実際に防災キャラバンのプログラムを体験。担架作りや簡易ポンチョの作成などを、参加した子どもたちと一緒に楽しみました。

また、「宇宙でも、地球でもそなえようねに!!」との応援メッセージもいただきました。



**今年も実施決定！**

2018年も4月1日(日)から12月31日(月)の期間に、「全国防災キャラバン」を実施します。会場・日程はそれぞれ今後の調整となります。お近くで実施の際はぜひご参加ください。

# ニッポン全国 [特別編：元氣連盟紹介]

## 元氣団 紹介

新たな拠点から底上げを！

## ボーイスカウト鹿児島県連盟野営場 野下野外活動センター

2013(平成25)年鹿児島県連盟が新しい県連盟の野営場を取得。なんとその場所は廃校を利用している。はたして、どのように活用しているのか。活動の拠点というだけでなく、独自の取り組みなどを行っている野営場を訪ねた。



### 取得に至る経緯

長年の夢であった鹿児島県連盟の野営場取得。県連盟として、さまざまなメリットを考え、公益財団法人化を目指していたが、「長年貯蓄した資産はスカウトたちのために価値ある使い方を」と、検討を重ねていた。過去にもいくつかの野営場候補が挙がっていたというが、なかなかうまくいかなかった。

鹿児島市より北西約20kmにあるこの野営場は、たまたま県内の団が団キャンプをした場所で、その時に地元の方々との交流のため、キャンプファイアに招待し、多くの方に来場いただいた。地元としても、学校の跡地の再利用を模索していたこともあり、地元地区の会長さんに「ぜひここに野営場を」と歓迎されたそうだ。

地元の行政と借用に向けてさまざまな調整を行った結果、地元の理解でなんと無償で10年更新という形で借りることができたそうだ。



### 県内の仲間たちの協力

2013(平成25)年3月に市と調印式を行い、オープンに向けての準備が始まった。関係者の会社で使わなくなった資機材をいただき、運送業を営む保護者をお願いして大型トラックで輸送。風呂の設置から何から何までもが手作り。ワッペンワッペンの展示もスカウトたちが協力するなど、自分たちの野営場を整備していた。そうして1年。まさに県連盟の総力をあげた準備が終わり、2014(平成26)年5月に正式にグランドオープンした。

### スカウティングの底上げ

こうして、無事にオープンした野営場。まず最初に行ったのは、県内のスカウトを集めての

「グリーンパートレーニング」。これは、近年の技能低下や人数の減少で、本来の活動がなかなかできていないという現状をどう克服するかという思いを実現するための機会であった。まさに長年夢見た野営場での最高のスタートであった。

また、これはスカウトのみならず、指導者にもいえること。このトレーニングに関わることによって、標準隊を通常の活動で経験できない指導者に、本来の指導者の体験してもらえることにも重きを置いた。そして、この野営場ができたことにより、指導者定型訓練も積極的に行えるようになったという。

今までは、備品の輸送からすべてを計画していたが、会場に備品を置いておけることで、所員たちはコースにより集中できるようになった。また、県内での開催により気軽に参加できるようになり、研修人数も増えている。来年度は実修所の開催も視野に入れているそうだ。

そして、昨夏は佐賀や沖縄のスカウトたちもこの野営場に来場。3県での交流会など、さまざまな活動のベースとなっている。

また、県連盟の備品が常にあることから、個人備品だけで来て、キャンプをすることも可能。さらに県連盟独自で定めている、65歳で定年を迎えたトレーナーたちの「シニアトレーナー」をはじめ、県内の指導者がさまざまなサポート体制をとっており、野営場でのプログラムも体験できるそうだ。



### 地元との共存

地元とのつながりも大切にしている。過疎化が進む中、地元地区の運動会などにボーイスカウトも参加したり、「青空市」と呼ばれる催

しにも出店し、ツイストやピザの販売なども行っている。単にスカウトの野営場ではなく、新しい地元のコミュニティの場にもなっており、炭焼きやわらじの作り方などを、地元の方に教えていただくほか、なんと周りの道路整備や、薪作りなども、地元の方の好意でいただいているという。こうした積み重ねは、ボーイスカウトをより多くの方に理解していただけるPRでもある。

### 他団体とも

さらに、この場所を他団体に利用してもらえるよう積極的に誘致し、すでにキャンプ協会のイベントや、ミュージシャンのファン感謝キャンプ、幼稚園の利用など数々の実績を作っている。

現在5年目を迎えたこの野営場。10年を2タームと考え、1ターム目のこの5年間の反省を踏まえ、新たな5年に向け、計画を立てている。

スカウティングの底上げ、地元や他団体との繋がり、こうしたことを成し遂げる夢のキャンプ場である。

### 鹿児島県連盟より

「屋久島など、さまざまなアドベンチャーが待っている鹿児島。ぜひこの野営場をベースに活動してみたいはいかがですか？ 皆さまのご来場お待ちしております！」

#### 野営場住所：

〒895-1203  
薩摩川内市樋脇町市比野字川井谷7970

#### 問い合わせ先：

〒892-0822 鹿児島市泉町8-1 稗田方ひえだ  
TEL 099-219-3345 FAX 099-219-3346  
<https://bskagoshima.wixsite.com/kagoshima-s-c>



お話を伺った皆さん。県連盟事務局にて。

# 世界のスカウト人口



創始者

ロバート・ベーデン・パウエル卿  
(1857-1941)

## 世界スカウト機構加盟国と加盟員数

1907年にイギリスで始まったスカウト運動は、すぐに世界中に広まり、現在では約4,000万人のスカウトたちが活動しています。スカウト活動が行われていないのは、アンドラ、中国、キューバ、北朝鮮、ラオスの5か国のみ。イラク、ギニアビサウ、サントメ・プリンシペ、東ティモール、マカオが新たに加盟し、スカウトの世界組織である世界スカウト機構(WOSM)には、169の国と地域のスカウト組織が正式加盟しています。

## ■ 世界スカウト機構加盟国と加盟員数

[正加盟] **169**の国と地域 / [合計] 約**4,000**万人

アジア太平洋地域 <i>Asia-Pacific Region</i>	ヨーロッパ地域 <i>Europe Region</i>	アラブ地域 <i>Arab Region</i>	アフリカ地域 <i>Africa Region</i>	インターアメリカ地域 <i>Interamerica Region</i>
30,190,825人 / 27か国 事務局：フィリピン	1,736,116人 / 40か国 事務局：スイス	280,567人 / 19か国 事務局：エジプト	2,477,793人 / 40か国 事務局：ケニア	3,255,958人 / 34か国 事務局：パナマ
インド <b>3,647,843</b> インドネシア <b>21,599,748</b> オーストラリア <b>68,350</b> 韓国 <b>149,356</b> カンボジア <b>16,608</b> キリバス <b>1,186</b> シンガポール <b>11,380</b> スリランカ <b>37,737</b> タイ <b>697,797</b> 台湾 <b>53,203</b> 日本 <b>109,528</b> ニュージーランド <b>18,440</b> ネパール <b>20,838</b> バングラデシュ <b>1,112,293</b> パキスタン <b>525,365</b> パプアニューギニア <b>4,955</b> 東ティモール <b>—</b> フィジー <b>10,175</b> フィリピン <b>1,934,255</b> ブルネイ <b>2,534</b> ブータン <b>24,496</b> 香港 <b>66,841</b> マカオ <b>—</b> マレーシア <b>65,944</b> ミャンマー <b>—</b> モルディブ <b>1,508</b> モンゴル <b>10,445</b>	アイスランド <b>4,615</b> アイルランド <b>44,492</b> イギリス <b>530,999</b> イスラエル <b>83,332</b> イタリア <b>102,099</b> エストニア <b>1,341</b> オランダ <b>57,507</b> オーストリア <b>10,136</b> キプロス <b>4,667</b> ギリシャ <b>15,888</b> クロアチア <b>2,544</b> サンマリノ <b>260</b> スイス <b>23,298</b> スウェーデン <b>34,990</b> スペイン <b>63,424</b> スロバキア <b>6,826</b> スロベニア <b>6,143</b> セルビア <b>5,261</b> チェコ <b>46,190</b> デンマーク <b>42,927</b> トルコ <b>141,277</b> ドイツ <b>109,292</b> ノルウェー <b>17,840</b> ハンガリー <b>9,675</b> フィンランド <b>52,565</b> フランス <b>75,547</b> ブルガリア <b>948</b> ベルギー <b>103,275</b> ボスニア・ヘルツェゴビナ <b>3,130</b> ポルトガル <b>80,681</b> ポーランド <b>35,697</b> マケドニア <b>1,467</b> マルタ <b>3,079</b> モナコ <b>360</b> モンテネグロ <b>1,268</b> ラトビア <b>872</b> リトアニア <b>1,820</b> リヒテンシュタイン <b>690</b> ルクセンブルク <b>6,282</b> ルーマニア <b>3,412</b>	アラブ首長国連邦 <b>5,980</b> アルジェリア <b>4,150</b> イエメン <b>6,481</b> イラク <b>—</b> エジプト <b>82,940</b> オマーン <b>12,847</b> カタール <b>4,528</b> クウェート <b>5,950</b> サウジアラビア <b>19,260</b> シリア <b>9,260</b> スーダン <b>14,682</b> チュニジア <b>18,494</b> バーレーン <b>1,790</b> パレスチナ <b>33,629</b> モロッコ <b>12,304</b> モーリタニア <b>3,724</b> ヨルダン <b>15,521</b> リビア <b>14,494</b> レバノン <b>14,533</b>	アンゴラ <b>18,654</b> ウガンダ <b>116,054</b> エチオピア <b>67,977</b> カメルーン <b>4,501</b> カーボヴェルデ <b>733</b> ガボン <b>3,736</b> ガンビア <b>18,422</b> ガーナ <b>3,818</b> ギニア <b>10,522</b> ギニアビサウ <b>—</b> ケニア <b>1,026,364</b> コモロ <b>1,725</b> コンゴ民主共和国 <b>71,443</b> コートジボワール <b>7,512</b> サントメ・プリンシペ <b>—</b> ザンビア <b>7,396</b> シエラレオネ <b>15,074</b> ジンバブエ <b>6,731</b> スワジランド <b>6,843</b> セネガル <b>9,857</b> セーシェル <b>169</b> タンザニア <b>538,933</b> チャド <b>14,500</b> トーゴ <b>9,702</b> ナイジェリア <b>46,701</b> ナミビア <b>2,836</b> ニジェール <b>3,300</b> ブルキナファソ <b>11,528</b> ブルンジ <b>28,559</b> ベナン <b>7,225</b> ボツワナ <b>3,783</b> マダガスカル <b>50,464</b> マラウイ <b>12,810</b> 南アフリカ <b>299,128</b> 南スーダン <b>2,149</b> モザンビーク <b>21,487</b> モーリシャス <b>5,509</b> リベリア <b>2,418</b> ルワンダ <b>18,859</b> レソト <b>371</b>	アメリカ合衆国 <b>2,816,513</b> アルゼンチン <b>62,343</b> アルバ <b>—</b> ウルグアイ <b>1,968</b> エクアドル <b>6,022</b> エルサルバドル <b>3,309</b> カナダ <b>103,401</b> ガイアナ <b>399</b> キュラソー <b>—</b> グアテマラ <b>4,905</b> グレナダ <b>1,367</b> コスタリカ <b>10,387</b> コロンビア <b>14,153</b> ジャマイカ <b>1,705</b> スリナム <b>756</b> セントビンセント・グレナディーン <b>221</b> セントルチア <b>355</b> チリ <b>20,636</b> トリニダード・トバゴ <b>8,686</b> ドミニカ <b>1,100</b> ドミニカ共和国 <b>1,513</b> ニカラグア <b>1,481</b> ハイチ <b>43,605</b> バハマ <b>1,443</b> バルバドス <b>2,334</b> パナマ <b>2,600</b> パラグアイ <b>1,086</b> ブラジル <b>69,924</b> ベネズエラ <b>14,123</b> ベリーズ <b>810</b> ペルー <b>8,254</b> ホンジュラス <b>1,953</b> ボリビア <b>7,126</b> メキシコ <b>41,480</b>
		ユーラシア地域 <i>Eurasia Region</i> 19,288人 / 9か国 事務局：ウクライナ		
		アゼルバイジャン <b>1,631</b> アルメニア <b>2,261</b> ウクライナ <b>1,195</b> カザフスタン <b>1,113</b> ジョージア <b>1,749</b> タジキスタン <b>1,062</b> ベラルーシ <b>1,041</b> モルドバ <b>2,050</b> ロシア <b>7,186</b>		

※ 人数は、WOSMの最終更新(2014年12月)に準ずる(日本は2016年度末時点)  
※ 最終更新以降の加盟国は人数未集計  
※ 掲載は各地域内で五十音順

## いぬ とくがわつなよし 戌の年と徳川綱吉

今から遡ること372年の江戸時代、三代将軍・徳川家光の四男として、後の五代将軍・徳川綱吉は1646(天保3)年「戌の年」に江戸城にて生を受けました。

戦後生まれの私たちの中学時代における日本史の授業では、綱吉の発令した自身の干支である「犬」を中心とした、あらゆる動物の殺傷を禁じる「生類憐みの令」を介して、犬将軍だの犬公方だのと揶揄され、明治以降の初等・中等公教育から戦後の小・中・高等教育の現代に至るまで、綱吉は悪政を働いた愚かな将軍としての歴史認識を教えられていました。

ところが近年1990年以後、綱吉に関する資料や文献の再考・発見により、儒学の学問所「湯島聖堂」建立などをはじめ能・狂言など多くの芸術文化などを奨励開花させた元禄か



徳川綱吉公(土佐光起・筆/徳川美術館・蔵)

ら殺人事件が数多く起こり、元禄から宝永年間には、富士山噴火、浅間山噴火や地震など、天災による大火事や大洪水による飢饉が頻発していました。そのため貧しい農民と多くの庶民は口減らしとして、老人や病人などを野山に置き去りにする「姥捨て」や、乳飲み子を籠に入れ「捨て子」にするなど、多くの人々の命が失われる時代でもありました。

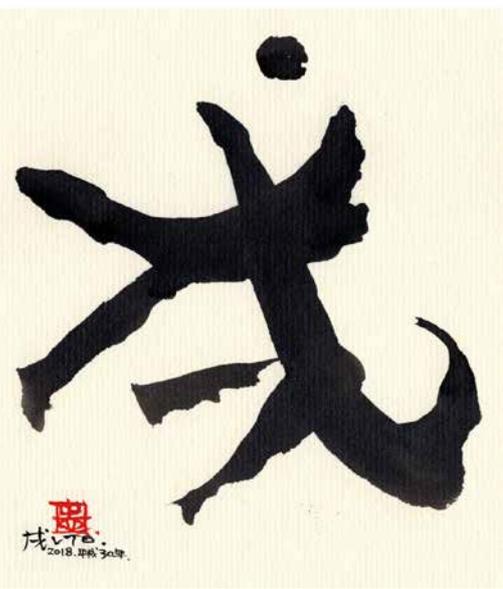
そんな時代において、綱吉は父・家光から幼少の頃より儒学の教養を叩き込まれていたため、忠孝に励み仁徳を尊ぶ精神から、お年寄りをはじめ親を大切に、幼子を慈しみ「いたわりの心」を重んじる、今では当たり前の、病人や弱者保護を目的とした最先端の福祉政策の要素も「生類憐みの令」は兼ね備えていたのです。

当時、日本をはじめ多くのアジア諸国や南太平洋の農耕社会で行われていた犬を食用にする犬食文化を禁止し、すべての犬を登録する制度にして犬目付役人職を設け、犬への虐待を極力抑えたのです。

また巷を闊歩する野良犬に対しては、武蔵の国・喜多見村をはじめ四谷、大久保、中野などに数多くの動物保護施設を用意し、なんと中野の施設では10万匹を超える野良犬たちを保護し手厚く扱ったことから、天災や飢饉の影響で日々の暮らしに困窮する多くの一般庶民から不満が高まり、犬将軍や犬公方・バカ殿だのと悪口をたたかれ評判を落していったのでした。

とはいえ、その綱吉の精神である命の大切さを伝えるための「生類憐みの令」の本質そのものは、400年過ぎた今の時代にもしっかりと生き続けているのです。

2018(平成30)年「戌」のこの年が、良い年でありますように。



ら宝永に至る治世が見直され、綱吉の評価はその多くが、現在では善政と理解され「天和の治」と称されています。

悪令といわれている「生類憐みの令」も一度きりの法律令ではなく、庶民の多くがなかなか動物殺傷の禁止を守らないために、なんと24年の長きに渡った135回の発令の総称なのです。動物保護の印象ばかりが先行していますが、その実は「人の命の大切さ」を庶民に伝え浸透させるのが目的だったのでした。

徳川家康が天下を統一し、江戸に幕府を開いてから80年前後の綱吉の江戸時代前期は、それまで続いた戦国の世の殺伐とした風潮か

イラスト&文：伊東孝志

いとうたかし/南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学56年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の楽描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄〜東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。●伊東孝志ブログ「道草楽描/みちくさらくがき」～<http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

### 信仰奨励

## 「B-P 最後のメッセージ」に 願いをこめて

信仰奨励委員会 木村 幸雄

私は現在59歳。9歳でカブ隊へ入隊して以来、今年で50年になります。まさに「スカウト運動」なくして、私の半生はありません。

カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーと集会、キャンプ、社会奉仕活動を経験し、成人してからは、カブ隊副隊長、ベンチャー隊隊長、ボーイ隊隊長として、たくさんのスカウト、リーダーの仲間と出会いながら、現在も微力ながら団委員として、奉仕に努めています。

30年前、ベンチャー隊の隊長として、スカウトたちと「四国の霊峰 石鎚山 登山キャンプ」をしたことは、今でもよく覚えています。隊長として、未熟であった頃の話です。山頂近くのキャンプ場で、夜中に猛烈な雨、突風に遭遇。スカウトたちが「隊長、テントに水が入り、荷物が浮いています」「隊長、テントが風に飛ばされそうです」と次々に訴えてきました。とっさに私は「みんな、朝まで頑張ろう!! 朝にはきっと天気は回復する。辛抱や!!」と叫びながら、テントの中で、ひざまずき「神様、どうか子どもたちをお守りください」と手を合わせ、祈り続けました。翌朝、うそのように天気は回復。そのときの「太陽」のありがたさは、けっして忘れることができません。

B-P 卿は「最後のメッセージ」の中で、私たち「人間」は、神様の偉大な働きの中に生かされていることを説かれ、「感謝」をもとに、ものごとを「悲観的」に考えず、「希望・願い」をもってあたろう、と説かれています。

まさに、今の21世紀。百年前に比べ、IT化により文明は発達し、本当に便利になりました。しかし、今こそB-P 卿の「願い」に立ち帰る「スカウティング」が、大切ではないでしょうか。

私たちは、心に「三つの誓い」を灯し続け、世のため、人のために、幸せを分け与えられる自分になれるよう、神(仏)に誓い、後の人にも「B-P スピリット」を伝えられる日々を、実践させていただきましょう。きっと幸せな道を歩めるはずですよ。



# 日本連盟創立100周年に向けて ボーイスカウト再興への道



1922 - 2022

## (1) 今こそ取り組みを始めましょう！

日本のボーイスカウト加盟員数は1983(昭和58)年度の33万人をピークに毎年減少を続けており、このままのペースで減少が続けば連盟創立100周年を迎える2022年には7万5千人まで減少すると予測されます。今こそボーイスカウトの力を取り戻し、加盟員数を上向きにして記念すべき年を迎えられるよう、改めて全国一丸となって運動再興へ向けて取り組みましょう。今月から数回にわたり、ボーイスカウト再興についてさまざまな面から全国の皆さんとともに考えていきたいと思います。

### データで見る全国の団の現状

平成28年度末(2017年3月末)の全国の団の登録人数状況を分析したデータを紹介いたします。

各隊のスカウト数をおよその標準人数として計算すると、右のようになります。

ビーバー隊	10人 × 2学年 = 20人
カブ隊	6人 × 4組 = 24人
ボーイ隊	8人 × 4班 = 32人
ベンチャー隊	6人 × 3学年 = 18人
ローパー隊	1人 × 8年 = 8人
計104人	

これをもとに、組織拡充の優良団表彰のスカウト数基準は100人以上(カブ隊やボーイ隊が4組・班編成)をSランク、65人以上(同3組・班編成)をAランクとしています。

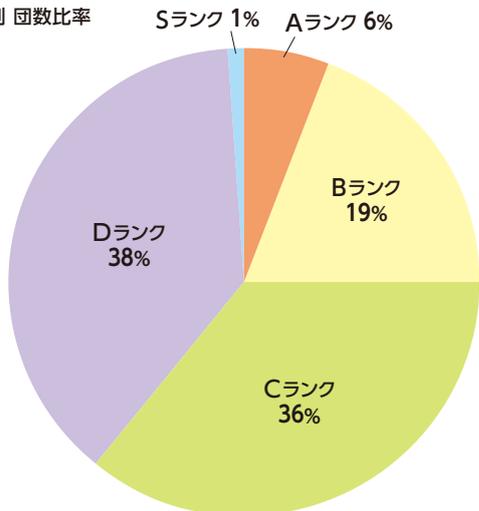
今回の分析データでは、2班編成を目安としたBランク、複数班編成に満たないCランク、隊活動が難しい少人数をDランクと仮定し、分類しました。

ランク	スカウト人数	BVS	CS	BS	VS	RS
基準	学年・組・班	2学年	4組	4班	3学年	8年
	上記あたりの人数	10	6	8	6	1
S	100以上	20	24	32	18	8
A	65~99	15	18	24	12	5
B	40~64	10	15	18	6	3
C	20~39	6	9	8	3	1
D	19以下	2	4	4	1	1

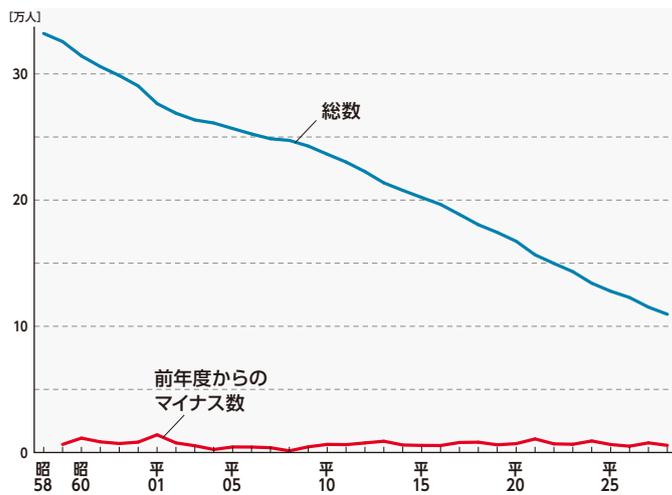
このスカウト数を目安にS~Dの5つにランク分けすると、全国ではどのような比率で団が存在しているのでしょうか。そこで、全国の団数2,102こ団に対する各ランクの団の比率をグラフにしてみました。

カブ隊やボーイ隊で複数の組・班による活動ができるS、A、Bランクの団を足しても553こ団で全体のおよそ4分の1。通常単独の組・班による活動か、グループ活動自体が難しいといえるC、Dランク団が1,549こ団で全国の団の4分の3を占めているという、極めて厳しい状況にあることがわかります。

■ ランク別 団数比率



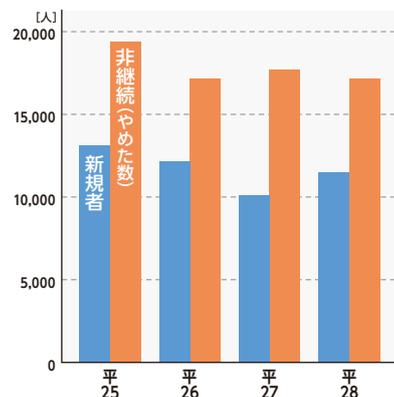
### 人数減の傾向をつかむ



33万人の最盛期であった1983年から33年間にわたり、年ごとに多少のばらつきはあるものの、平均して6,750人が減少しています。

ここ数年の間に新たに加入した人と、退団した人の比率は、おおむね右のグラフのような状況です。

加入する人が1万人前後いるのに対し、退団する人が1万5千人以上いるため、この差の分、毎年総数が減っているのです。



### 今ならまだ間に合う！

こうした中、一例ですが、8~11頁でも紹介している広報戦略も効果が始まったのか、関東ブロック8県連盟のうち、なんと5県連盟が10月末時点ですでに前年度末を超える新規入隊スカウトを獲得しました。

日本連盟では、100周年に向けた長中期計画のさまざまな取り組みの中、PR活動による入団数を増やす施策に加え、中途退団抑止策を検討・推進するチームの編成も行い、入りと出の両面から加盟員数増加に転じるための効果的な施策を作っていくよう動き始めています。

私たちが確信するとおり、スカウト運動の真価は昔から変わらず素晴らしいものです。その真価を十全に発揮していけるよう、皆さんの隊・団を支える方策について、引き続き、ともに考え取り組んでまいりましょう！



# セーフ・フロム・ハームの取り組み

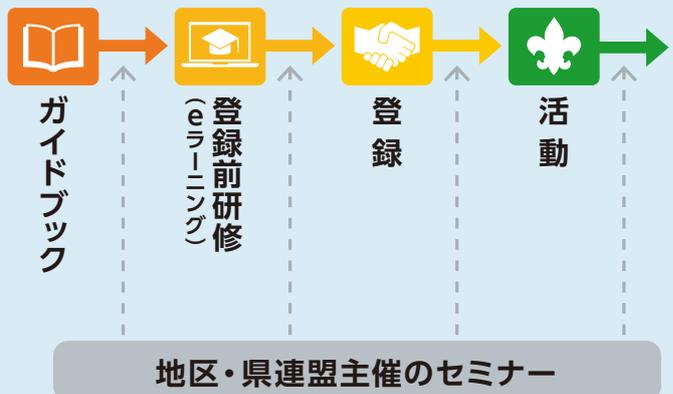
## 登録前研修について

日本連盟では、平成29年度加盟登録時より本運動に加盟登録をしようとする18歳以上の隊・団指導者（副長補等も含む）は、事前に「登録前研修」の受講が必修となりました。この「登録前研修」については、今後も年度の登録更新時に受講していただきます。そこで、平成30年度加盟登録に向けての「登録前研修」は、すでに内容を更新し、新しい内容の研修を公開しています。

この登録前研修は、eラーニングにより実施していますが、セーフ・フロム・ハームの取り組みについては、昨年同様、右記の流れ（フローチャート）で行います。まずはガイドブックをご一読いただき内容を確認のうえ、登録前研修に取り組んでください。

なお、インターネットへの接続環境にないなどオンラインでの受講が難しい方は、関係者の協力を得て、ガイドブック、「登録前研修テキスト版」を日本連盟のホームページよりダウンロードいただき、研修に取り組んでください。研修受講後、修了証（PDF）が発行されますので、団所属の指導者等は、各団委員長へ報告・提出してください（テキスト版の方も研修後、団所属の指導者等は、同意書を各団委員長に提出してください）。

### ■フローチャート



日本連盟：セーフ・フロム・ハームのページ

<https://www.scout.or.jp/sfh/>

## セミナーについて

平成29年度は、ガイドブックの内容に基づいたセミナーを各地域で県連盟、地区などの主催で開催してきました。ガイドブックを読むだけでなく、セミナー参加者が相互に話し合うことを通じて、より理解を深めるセミナーになっています。

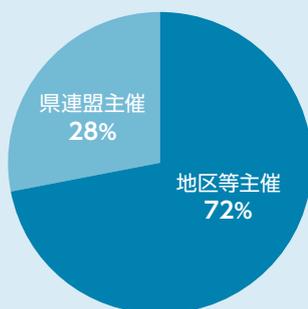
本年度は、30県連盟で延べ81回（平成29年12月14日現在）開催し、参加者合計2,677人（1セミナーあたり33人）となりました。なお、今年度中の開催としては新たに6県連盟が開催を予定しています。



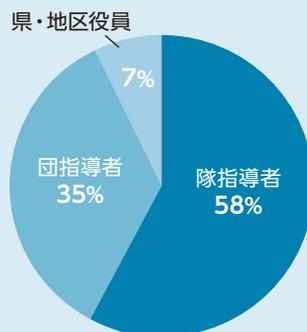
主催者と参加者の内訳は、以下のとおりです。

主催者と参加者の内訳は、以下のとおりです。

### ■主催者の内訳



### ■参加者の内訳



セミナーに参加された方からは、次のような感想をいただいています。

- 時間をかけてでも深い学習を進めていく必要がある。
- 飲酒・喫煙への認識を改める必要性はあるが、指導者と保護者の親睦の在り方についても考える必要がある。
- ガイドブックどおりの進行だったので、もっと現場での事例とその対応の仕方を教えてもらいたい。
- 必要な制度であることは間違いないが、過剰な反応、特に指導者間の信頼関係に基づく言動などは第三者が勝手に決めつけることがないようにしなければならない。
- 人として守るべき「ルール」や「マナー」を具体的にわかりやすく教えていただきありがとうございます。セーフ・フロム・ハームの導入は、今の世の中では、考え方を統一させていくためにも必要だと思います。

本セミナーは、隊指導者だけでなく、団指導者も多く参加されています。また、参加者の年代も幅広いようです。役務、世代など多様な参加者によるグループディスカッションでは、それぞれの考え方が世代でも大きく違う点もあったことに気づいたとの意見もありました。

以上の感想や運営上からのご意見も踏まえた平成29年度の評価を担当委員会で行い、セミナーの内容（ケーススタディなど）について改訂を予定しています。

シートン『ウッドクラフトとインディアンの伝承』でふり返る、

# 「スカウティングの9つの指針」

『動物記』で有名な、アメリカの作家・画家、アーネスト・トンプソン・シートン(1860-1946)は1912年に『ウッドクラフトとインディアンの伝承』を発表しました。シートンが主宰してきた「ウッドクラフト・インディアンズ」運動の方針とプログラム、その展開の場となる北米の自然を解説した著作でした(右ページ参照)。

その第1章が「スカウティングの指針」となっています。その時シートンは、ボーイスカウト・アメリカ連盟の初代総長であり、始まったばかりのスカウト教育の方針を広く一般に紹介したものともしました。一時期の断絶はありましたが、シートンの構想は、イギリスと違い、大自然を相手とするアメリカのボーイスカウト教育の太い柱となりました。

20世紀の初めにイギリスから伝わり、第2次大戦後復活した日本のボーイスカウト教育はアメリカのスカウティングの影響をおおいに受け、現在に至っています。スカウティングの原点を探る参考に、今、改めてシートンの構想をふり返ってみましょう。



シートンが描いたアメリカインディアンの男姿

## 「ウッドクラフトとインディアンの伝承」より

### 第1章 スカウティングの指針 (Principles of Scouting)

(Principle には、原則・原理という意味もありますが、シートンがスカウティングという新しい教育運動の方向性を唱えたものとして、ここでは指針としました)

#### スカウティングの重要な9つの指針

この第1章で、シートンは「このごろアウトドアライフの心身への効用が注目されている。この考えに感銘を受けた篤志家が貧民街の少年たちを森に連れ出したが、森の中で、少年たちは木陰でたばこを吸ったりカードゲームを始めたりと、自分たちの知っている楽しみにふけるだけであった。この例が示すように、単にアウトドアに連れ出すだけでなく、楽しみ方を教えることが肝要である。本著の目的はアウトドアライフの効用を得るための方策を示すことである」と述べて、以下の教育方針をスカウティングの指針として挙げています。

以下、原文より。

現在の人権意識からすると不適切な内容もありますが、原著者の意向を尊重しました。[ ]内は本誌編集部が補注です。原文のイタリック体は太字にしました。

#### 念頭に置くべき9つの指導方針

**1** この運動は本質的にレクリエーションのためのものである。

**2** キャンプ・ライフ キャンプは実践に要約されるシンプルな生活であるが、それは極上のアウトドアライフでもある。

今日、キャンプの人気はそれほどでもない。男性は、キャンプは高い金を払って大自然へ旅をしてようやくできるものだ、女性は、キャンプは不便で不潔で危険なものだと思込んでいるからだ。

これは誤解だ。技芸の一つとしてのキャンプが理解されていないことから生じたものだ。よく考えてみれば、キャンプ生活は、安くてなおかつ快適な方法で行われ、それは、忙し過ぎる世界で押しつぶされ、破壊された精神や身体を救うものでもあるはずなのだ。

自然の豊かなところなら理想的なキャンプができるが、街かどの広場やベランダ、屋上だったとしても、テントで暮らせばたくさんの恩恵を得ることができるだろう。

**3** 成人の助言を伴った、自治 内部でできるのに、外部か

らコントロールされるのは残念なことだ。だから、私たち[指導者]はキャンプではできるだけ自治を実現させるようにしたい。メンバー全員がそれぞれ物事への決定権を持つこと。

**4** キャンプファイアの不思議な力 キャンプファイアのないキャンプとは? —ありえない。どこかの誰かが何かをしでかしかねないとか、地形のせいで凍てつく場所でもなければ。

野蛮な類人猿が、立ち上がり、直立歩行したとき—それは最初のヒトであり、その象徴的で重大な出来事は、最初のキャンプファイアの光で彩られたのだ。

[中略(火、特に木を燃やす火そのものが神聖であること。近頃、それを見る機会が減ったこと)]

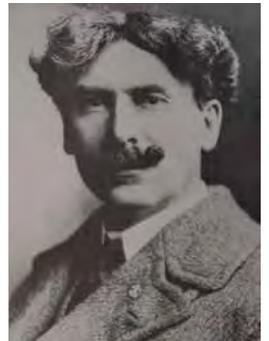
キャンプファイアは、すべての人に根源的に備わる友愛の中心となるものだ。この神秘的な力の活用を欠かすことはできない。

**5** ウッドクラフトの探求 私たちは、学識ではなく男らしさが教育の第一の目的だということに気づき、最高的人格、最上の体格を造ること、それはアウトドアで実現できること、そして一言でいえば男らしさの造形を努めて探求してきた。

さまざまな考察を経て、ほとんどの場合、私たちはまず、「ウッドクラフト」に導かれた。—それは広い意味での「ウッドクラフト」—オールラウンドな「ウッドマン」が成しとげることすべてを意味する—「乗馬」、「ハンティング」、「キャンプの技能」、「偵察」、「登山」、「インディアンの技能」、「応急手当」、「星の知識と観察」、「信号」そして「ボート」。私たちはこれらに、「セーリング」や「モーター競技」を含むすべての望ましい「屋外競技やスポーツ」、そして「野生動物の撮影」が重要な一部となる「自然研究」、さらに何よりも、「勇敢な行動」を加えた。

[この項、以下略(「ウッドクラフト・インディアンズ」での表彰実績)]

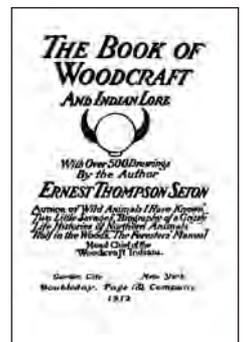
**6** 基準に従った榮譽 嘆かわしいことに、[カレッジなどの教育の場で]競争原理が幅を利かせている。[中略(最近の実態)] 私たちがすべての個人をある一定の基準へと成長させるよう努めれば、この[悪弊の]大部分は避けることができるだろう。私たちの非競争の挑戦[ウッドクラフト・



スカウトバッジをかけたシートン



シートンのサイン



同書の扉。2本角のものが「シートンのウッドクラフトのマーク」といわれる

インディアンズで行っていた順位を決めない競争]では、相手は「他者」ではなく、時間と空間、「自然」の力なのだ。私たちは他人をやっつけるのではなく、自分たちを向上させることに努める。この原則を思慮深く適用すれば、今、カレッジでスポーツ選手をくじけさせている数多くの悪弊を終わらせることができるだろう。ということで、私たちの栄誉はすべて世界共通の基準に従って授けられるのだ。(等賞は栄誉ではない)

**7** それぞれの功績にそれぞれの勲章 未開人にとっては、栄誉への愛着が行動の最も強い動機となる。文明人は優れた指針を立て、その中に自分の行いを左右する衝動を見つけると考えられている。しかし、このように最高の意味で文明化されていると自覚している私たちの人種の男たちでも、もちろん少年でも、その[栄誉を与えられた者の]姿を目の当たりにすれば、思いのほか感銘してしまうだろう。とはいえ、人間の弱点とはつき合うべき良き資質かもしれない。私はこれはこれとして向き合っている。誰にも、あの[第6項の]基準によって栄誉に浴するチャンスがあるのだ。私たちは、誰もがそれを見たり、得たり、望むことができるそれぞれの勲章[進級章、技能章などのこと]でその栄誉を表し、その功績をみんなに伝えている。

**8** 英雄的な理想 10～15歳までの少年は、未開人のようなもので、その理想とはほとんど肉体的なものだ。私には、ジョン・L・サリバン[マサチューセッツ州出身のボクサー(1858-1918)]よりダーウィンやトルストイになりたいという少年に会った記憶はない。そこで私はこの事実を受け入れ、肉体的で、しかし清廉でもあり、男らしく英雄的で、すでになじんでおり、確実に高みに導いてくれるこの理想というものを常に考慮するようにしている。

**9** 何事も視覚的に この点を重視すべきである。視覚的な効果は魅惑的で、一見して理解しがたいものならば、ますます絶妙であらげないものとなる。演目ときらびやかな衣装、そして華麗なセレモニー、台詞、踊りと歌の魅力、あらゆる手段でそれらを利用することだ。

シートンはこの章の終わりに「理想 (THE IDEAL)」という見出しを付け、多人数のキャンプには組織化が必要なこと、真のウッドクラフトによる教育、キャンプの組織化は、部族すなわちアメリカインディアン型の組織が最善と述べています。

また、アメリカ合衆国の独立は、インディアンの助力なしにはできなかっただろうとも言及しています。

## シートンの「ウッドクラフトとスカウティング」

●シートンは、野生動物はもとより、アメリカインディアンの生活と社会とそのウッドクラフトに強い関心を持ち、それを高く評価していました。さらには、イ



シートンのインディアン流実験キャンプ

ンディアンのウッドクラフトを通じた、子どもたちの教育を追究していました。1902年、シートンはコネチカット州

のコス・コブで地元の子どもたち42人を集めて、インディアン流キャンプ村を開催しました。その成功は「ウッドクラフト・インディアンズ」運動の原点となったのです。

- 1906年、シートンは「ウッドクラフト・インディアンズ」の指南書『ウッドクラフト・インディアンのカバノキの巻物 (The Birchbark Roll of the Woodcraft Indians)』を発表しました。まだ9項目という形には整理されていませんでしたが、その教育方針は本号で掲載したものとほぼ同じです。



シートンが描いた火起こしドリルとB-Pが単行本の『スカウティング・フォア・ボーイズ』で描いた、インディアンス式火起こしの図

- 同じ1906年、シートンはロンドンでベーデン・パウエルと会談しました。ウッドクラフトを通じて人格形成を図るという共通のころざしから、お互いの協力を約しました。B-Pはシートンより多くのヒントを得たといわれています。

- 1910年、シートンはアメリカ連盟の発足の直前、この運動を解説する大人向けの『ボーイスカウト・オブ・アメリカ；ウッドクラフト、スカウティングそして生活術のハンドブック (Boy Scouts of America: A Handbook of Woodcraft, Scouting, and Life-craft)』を著しました。B-Pの『スカウティング・フォア・ボーイズ』をガイドラインにしたものですが、もはや「原則」となった「ウッドクラフト・インディアンズ」の教育方針がほぼそのまま、9項目になって収録されています。ただし「スカウティングの指針」とは明記されていません。また、『カバノキの……』のインディアンを絶賛した記述は収録されていません。



表紙は連名となっている

- 1912年、今号の『ウッドクラフトと……』を出版し、以前とほぼ同じ教育方針を、「スカウティングの9指針」というタイトルで収録しました。指針そのものにはインディアンへの賛歌は含まれていませんが、終わりに「理想」という一節がついています。本当の教育、それはウッドクラフトを通じて人格形成を行うだけでなく、インディアン社会に学ぶべきであると信じるシートンにとっては、「指針」と「理想」は不可分であったようです。
- 1915年、シートンは運動方針の違いからアメリカ連盟から去りましたが、すぐに「ウッドクラフト・リーグ・オブ・アメリカ」を組織し、ウッドクラフト運動を続けました。『ウッドクラフトと……』は好評のうちに版を重ねましたが、やがて「スカウティングの9つの指針」を「ウッドクラフトの……」と表記します。
- シートンのウッドクラフト教育とアメリカインディアンに対する信条は終生変わりませんでした。しかもアメリカ国民の評価は高く、やがてアメリカ連盟はシートンの業績を認めるようになりました。

## 参考書

今泉吉晴著  
「子どもたちに愛されたナチュラリスト シートン」(2002年刊 福音館書店)

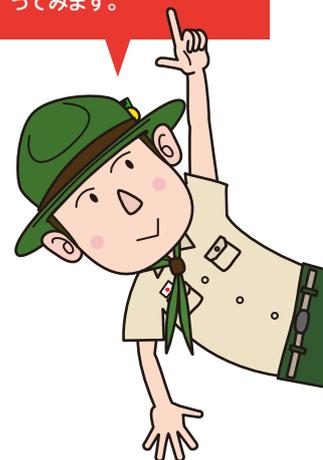
アーネスト・T・シートン著  
藤原英司訳  
「シートン動物記 別巻 シートン自叙伝」(1974年 集英社)

ジュリア・シートン著  
佐藤亮一訳  
「燃えさかる火のそばで〈シートン伝〉」(1971年 早川書房)

(以上いずれも絶版ですが、古書ではほぼ入手可能です)

※このページで取り上げた過去の洋書は、ほとんど、リプリントのリアル本やPDFなどの電子本で読むことができます。検索してみましょう(なお、English Editionとは、英語版ではなく英国版です。たとえば、信頼できる老舗、Dover社の“Woodcraft and Indian Lore”の復刻版は英国版です)。

シートンの指針、いかがだったでしょうか。100年を過ぎた今でも、参考になる部分があるのではないのでしょうか。しかし、この提言はすぐに、アメリカ連盟内部から批判され、さらに1920年には、ウッドクラフトを通じて子どもの人格を形成するという共通の基盤に立っていたベーデン・パウエルからも批判が出ました。次号では、それをご紹介し、ウッドクラフトとスカウティングの関係をより深くふり返ってみます。



# 報告 RCJフォーラム2017



ユースフォーラムからRCJフォーラムに名称が変わって2回目となる今回の「RCJフォーラム2017」は、「悩み・語れ・進め」の3段階でプログラムを展開しました。野外料理やローバーナイトなどのプログラムをとおして交流を深めるとともに、基調講演や分科会、まとめを通じて、同年代のスカウト仲間が直面している課題の多様性を知り、活動の視野を広げる機会としました。このフォーラムで得たことを、参加者が自らのフィールドに還元していくために考える機会となりました。



会期	平成29年10月7日(土)～9日(月・祝)
場所	大阪・大阪府立少年自然の家
参加者	32県連盟137人
テーマ	「BLAZING THE TRAIL」 ～その一歩を踏み出す前に～
目的	参加者が話し合いや交流をとおして、スカウティングにおける課題解決のための契機とする

## 1日目

開会式 / アイスブレイク / オリエンテーション / RCJ説明 / 基調講演  
Preheat (導入) / 野外料理 / ハーモニーナイト

大阪連盟から横山理事長、地道県連盟コミッショナーを迎え、膳師日本連盟コミッショナー、福嶋プログラム委員長などの出席のもと、開会式を行いました。野外でのアイスブレイクで緊張が和らいだところで、戸谷RCJ議長よりRCJについての説明があり、中

村実行委員より「社会から求められるローバースカウト」について基調講演をしていただきました。Preheatでは、「日本のスカウト人口減少を止めるために、ローバースカウトは何ができるのか」をテーマに、課題に対する理解を深め、積極的に取り組むことができました。

## 柳澤彩紀実行委員長(岩手連盟)による総評

前回(RCJフォーラム2015)に引き続き実行委員としてRCJフォーラムに関われたこと、大変嬉しく思います。2年前、諸先輩から学びを得て、今回は実行委員長として運営に携わることができ、私自身、「経験を次に活かす」という経験ができました。実行委員長として至らぬ点も多く、探り探り進めていきましたが、フレッシュな面々と新しいフォーラムを作り、運営することは面白かったです。

RCJフォーラム2017そのものについて、結果からいうと満足しています。私が当初から思い描いていた「ルック・ワイド」に加えて、参加者はプログラムをとおして、今後自らが歩む道を見定め、歩む力を身につけられたのではないのでしょうか。前回、そして今回のような課題解決を軸としたプログラム構成が今のRCJには合っていると参加者の反応を見て改めて感じました。今回のフォーラムをきっかけに、参加者全員が、力強く、より良いスカウティングを展開していけたらと思います。

## 2日目

活動報告会 / 分科会I / 分科会II / ローバーナイト



同じ悩みをもっている参加者でグループを作り、「ローバースカウトに求められていることは何か」について話し合い、ローバースカウト年代があるべき姿(目標)についてまとめ、どのような形で自らのグループの課題に還元していくのかを話し合いました。そして、課題解決のために取り組んでいくことを設定し、解決方法を具体化していきました。

**活動報告会の6グループ** 第13回世界スカウトユースフォーラム派遣(派遣員) / 第15回世界スカウトムート派遣(派遣員) / 愛知ローバース会議(愛知) / APUローバース(大分) / Scoutube(東京・昭島第1団) / 個人プロジェクト: 英国エディンバラ公 国際ユースアワード取得挑戦者(山岸・神奈川) **分科会のグループ** 活動への参加 / 活動への参加促進 / 地域ローバース活性化 / 後輩スカウトの育成 / 広報活動(地域とボーイスカウト) / プロジェクト展開 / 活動環境の構築・改善 / スカウト活動の両立 / スカウト活動の充実 / より良い指導者 / 高度な野外活動 / 大学ローバー / 他県との同年代交流

## 3日目

まとめ / 閉会式

前日の分科会I・分科会IIにおける話し合いをもとに、課題に対して「これからどのように取り組むのか」、目標と方法を明確にした個人の採択文を作成し、「まとめ」として各グループ内で共有しました。



## ■ 事前・事後アンケート集計結果の分析

**モチベーションについては、**

- どの年齢でも、事前と事後アンケートを比較すると大きく数値が向上しているため、本フォーラムは参加者のモチベーション向上に寄与することができた。
- 18歳～21歳のRS前半期にあたるスカウトのモチベーションが特に向上している。これは本フォーラムをとおしてローバーリングについて理解を深め、活動の視野を広げることができた結果である。

**活動満足度については、**

- 22歳～25歳のRS後半期にあたるスカウトの活動満足度は、前半期のスカウトに比べて高い傾向があ

る。これは後半期のスカウトがRSとして活動がある程度経験し、それに満足していることの表れである。

- 事前と事後アンケートを比較すると、参加者全体の数値が下落している。これは他の参加者との関わりをとおして、自らの活動に発展の余地や可能性を見出すことができた結果である。
- 18歳～21歳のRS前半期にあたるスカウトの活動満足度が特に下落している。これは本フォーラムがVSとの活動の違いについて知る契機となり、今まで全国的な活動に参加したことなかったスカウトに新たな活動の場を提供することができた結果である。

**フォーラム期待度・満足度については、**

- 比較的高いと回答した参加者は全体の約90%にのぼり、非常に参加者満足度の高いフォーラムになったことがうかがえる。
- ほとんどの年齢で参加者の期待度を満足度が超えることができている。全体としては0.23ポイント満足度が期待度を上回る結果となった。
- RS後半期の年齢の一部で期待度を超えることができなかったのは、RS後半期のスカウトが討議グループ内のファシリテーションをする機会が多く自らの課題解決がうまく行われなかったことが考えられる。

【報告：RCJフォーラム2017実行委員会】

## ■ 野外活動のための安心・安全講座

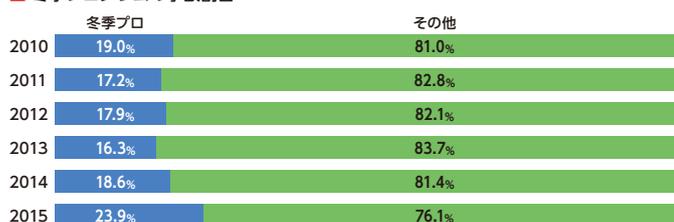
# 冬の事故に関する大人に向けた啓発

事故はスカウトだけでなく、指導者にも発生します。また、近年その数は増加の傾向にあります。今回は、ウィンタースポーツシーズンが本格的になるこの時期の事故と成人の事故について、そなえよつねに共済の事故データからそれらを確認していきましょう。

## 冬季プログラムの事故発生割合

毎年、本誌5月号に事故データの分析結果を掲載しています。それを基に冬季プログラム(スケート、スキー、スノーボード)の事故について発生割合を確認すると、冬季プログラムの事故は年間事故件数の約20%程度になっています。その発生時期も、1、2月を中心に発生しています。

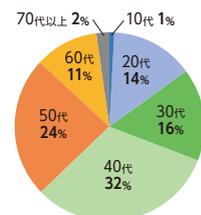
### ■ 冬季プログラムの事故割合



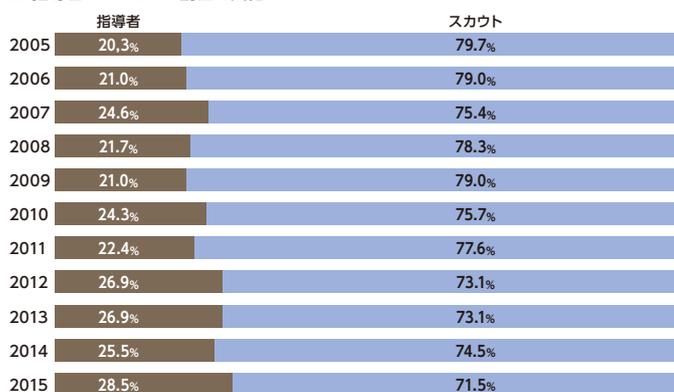
## 指導者/スカウトの事故割合

加盟員の登録データから成人指導者の平均年齢は50.2歳で、隊指導者の年代別割合では、40歳以上の指導者が約7割となっています。指導者の事故割合は、20%台で推移していますが、近年増加の傾向がみられています。

### ■ 隊指導者の年齢割合



### ■ 指導者/スカウトの割合の変化

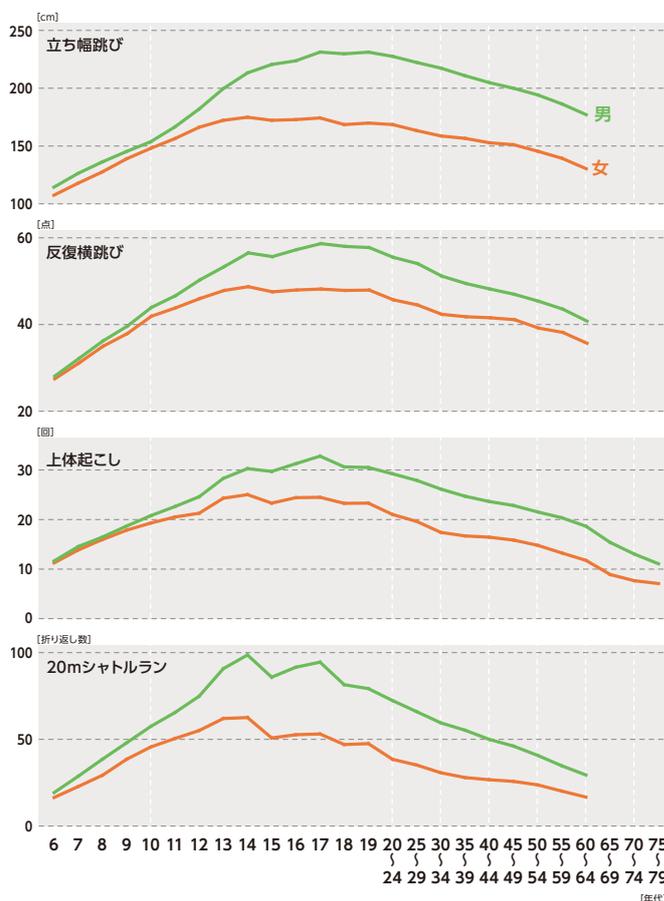


## 年齢と運動能力

スポーツ庁の「平成28年度体力・運動能力調査結果の概要」によると、年齢による運動能力の低下が顕著に確認できます。

項目ごとに見てみると、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし、20mシャトルランで運動能力のピークとなるのは、ほぼ、17歳の高校生年代です。ボーイスカウトの成人指導者の平均年齢である50歳のデータによると、立ち幅跳びはピーク時の84%、反復横跳びは77%、上体起こしは47%、20mシャトルランは41%で、その数値は10歳前後のデータ

と同じ程度を示しており、ピーク時のデータと比較すると年齢による運動能力の低下が示されています。



## 最後に

誰しもが年をとります。気持ちは高校生や大学生のころと変わっていても、40代、50代になると運動能力は少しずつ低下していくといえます。指導者は自分の運動能力を過信せず、無理を避けることが大きな事故を防止するためには必要です。また、体を動かす際の準備運動を念入りに行うことや、普段から体を動かし、自分の運動能力を的確に把握しておくことも大切でしょう。

この季節、ウィンタースポーツでは、帰り際の最後のもう一回が事故につながる事が多くあります。時間的なゆとりをもった活動が事故の防止につながります。成人指導者は、時間的な余裕だけでなく、気持ちのうえでも体力的にも余裕をもって各活動に参加し、事故を防止しましょう。

これから、スキー、スケートとスカウトが楽しみにしているプログラムが安全に実施できるように「そなえよつねに」で臨んでください。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

出典



スカウティング誌掲載記事  
[https://www.scout.or.jp/\\_src/14823/anzen\\_2017\\_web.pdf](https://www.scout.or.jp/_src/14823/anzen_2017_web.pdf)



スポーツ庁の「平成28年度体力・運動能力調査結果の概要」  
[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/toukei/chousa04/tairyoku/kekka/k\\_detail/1396900.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/tairyoku/kekka/k_detail/1396900.htm)

## ローカルホットライン

Local  
Hot  
Line

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

団・地区・都道府県連盟だより



## 東京 □ 東京で企業母体の新団発足!

江東第6団 団委員長 中村 浩一

2017年10月10日、「キッズニア」を運営する(株)KJC GROUPが母体となり、江東区の豊洲地区に江東第6団が誕生いたしました。「キッズニア」は職業体験を通じて子どもたちの「生きる力」を育むことを理念とした施設で、ボーイスカウト運動と親和性が高いことから、地域貢献活動の一環として団運営を全面的にサポートしていく予定です。

また、10月21日に、地元の「豊洲シビッ

クセンター」において発団式典を無事執り行うことができました。日本連盟副理事長の水野正人様をはじめ、多くのボーイスカウト関係者に駆けつけていただき、ビーバー隊15人、カブ隊5人、指導者9人の新たな門出を盛大にお祝いしていただきました。

明るく元気で楽しい団を目指して活動していきますので、皆様のご支援、ご指導を宜しくお願いいたします。

千葉 ☒ ボーイスカウト千葉地区  
結成60周年

千葉地区 国際委員会委員長 吉本 和男

1957(昭和32)年9月30日に「千葉市ボーイスカウト連絡会」が結成されて以来、昨年で千葉地区は満60周年を迎えた。これを記念して、昨年10月15日に千葉県立青葉の森公園芸術文化ホールにおいて、「千葉地区結成60周年記念式典」を開催。当日は冷たい雨が降るあいにくの天候にもかかわらず、市役所関係者、県連盟長およびフィリピン・ケソン市からの来賓を迎え、総勢550人が出席し、盛会の内に終了することができた。

当地区では、千葉市の姉妹都市であるフィリピン・ケソン市と米国ヒューストン市のボーイスカウトと40年近く国際交流を続けており、これまで520人のスカウトや指導者を派遣し、550人を受け入れてきた。今後も継続し、より多くのスカウトに国際交流の場を提供していきたい。また、地域との交流として、毎年8月に千葉市が主催する「千葉の親子三代夏祭り」で多くのスカウトがパレードに参加している。

千葉市は自然環境に恵まれ、スカウト活動に適した環境が多くあることから、今後も冒険心を駆り立てるような活動を多く取り入れ、健全な青少年の育成に取り組んでみたい。



第42回千葉の親子三代夏祭り・武者行列

東京 ☒ みんなの応援ソングができました!  
ラリーでミニライブ

城東地区副コミッショナー 齋藤 伸子

2017年11月12日、東京連盟城東地区カブラリーが葛飾区東立石緑地公園で開催されました。テーマは「戦国クエスト」。10月初め、各団の組長たちに戦国時代の謎の人物から届いた手紙がストーリーの始まり。ラリー当日、スカウトたちは、組集<sup>かぶと</sup>会で作った自慢の兜をかぶって集合。戦国時代にタイムスリップして、戦国武将にちなんだゲームコーナー巡りをしました。

また、「ラリーのテーマソングを!」ということで、日本レコード大賞作曲賞を受賞されたこともある杉山勝彦さんによるフォークデュオ「TANEBI」の応援ソングプロジェクトに応募したところ、ボーイスカウト運動に共感していただき、覚えやすく、明るく、元気の



出る素晴らしい歌を作っていただけました。

カブラリーで、ミニライブが実現。城東地区カブスカウト応援ソング「サンデー」を、生演奏をバックにみんなで大合唱しました。秋晴れの真っ青な空に届くほどのみんなの歌声とキラキラ輝く笑顔、感動のラストでした。

「サンデー」は、日本連盟 Facebook から聞くことができますので、当地区以外のみなさんもぜひ覚えて歌ってください。



**鹿児島** **新嘗祭と臨時奉幣奉告祭の大役拝命**  
 鹿児島第18団 ボーイ隊長 藏元 靖三

鹿児島第18団は、鹿児島県護国神社を育成団体(育成会長:野村浩史宮司)として活動しており、毎年11月23日の新嘗祭では、昔ながらの餅つきを行い、氏子の皆さまにも餅つきを体験してもらい、つきたてのお餅を食べていただく等の奉仕をさせていただいております。加えて昨年は、天皇陛下から「幣饌料」を賜り、新嘗祭に併せて斎行された臨時奉幣奉告祭において、「幣饌料」を唐櫃と呼ばれる籠にお納めし、護国神社本殿までお運びする大役を、ベンチャー隊の落祐末香議長とボーイ隊の上瀬璃乃班長の2人が拝命しました。2人は白装束に身を固め、ボーイ隊長の先導のもと、参道沿いのスカウト、指導者、保護者、参拝客に見守られ、無事に本殿までお運びすることができました。

今回の奉仕は、野村宮司の「せっかくの機会なので、ぜひ、スカウトの皆さんに経験していただきたい」とのご英断により実現したもので、貴重な機会をいただいたことに感謝しております。これからも鹿児島第18団は、護国神社を育成団体として、元気いっぱい活動していきます。

**訪日客おもてなし**  
**ボーイスカウト16人**  
 姫路城周辺

世界文化遺産・国宝姫路城を訪れた外国人観光客に楽しんでもらうため、地元ボーイスカウトに所属する小中学生や高校生がこのほど、城周辺で「おもてなし」に挑戦した。事前に学んだ英語で積極的に声を掛けたり、折り鶴を渡したりして外国人と触れ合った。英会話力を磨きつつ、地域に貢献しようと、同市南部を中心に活動する日本ボーイスカウト兵庫連盟姫路第6団が昨年始め、2回目。今年は小学5年〜高校2年の男女16人が参加した。児童・生徒らは外国人を見つけると「ハロー」と元気づけあいさつし、姫路城の感想や出身国を英語で質問。外国人は突然の質問に驚きながらも、すぐに打ち解けて笑顔で応じていた。カナダから来たイアン・ディビーさん(22)は「一生懸命な子どもたちに親しみが湧いた。(もらった)折り鶴もきれいだ」と笑顔。夢



外国人観光客に折り鶴を渡すボーイスカウトのメンバーら(姫路市本町)

前中2年の田中佐也加さん「られたと思う」と満足そう(13)は「姫路の良さを伝え」だった。(伊田雄馬)

神戸新聞(2017.8.14)

**兵庫** **新聞に掲載されました**  
 姫路第6団 団委員長 苦瓜 一夫

我がまちの誇れる世界文化遺産「姫路城」で活動した「姫路城おもてなし作戦と国際交流」が、新聞に掲載されました。

**平成29年7月大雨災害**  
**義援金・見舞金・支援金 報告**

昨年7月に発生した九州北部を中心とした大雨災害から半年が経とうとしています。今月号では、平成29年10月1日から12月4日までに活動報告をいただいた団等を掲載するとともに、義援金等の総額を報告いたします。



※ 報告に団名と個人名が併記されている場合はすべて団名に統一させていただいております。ご了承ください。(敬称略、順不同)  
 ※ 平成29年9月30日までの報告受付分は本誌2017年11月号(No.722)に掲載しております。

日本連盟に活動報告をいただいている団等(赤十字社等への直送含む)  
 日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金

**総額 ¥2,497,605**

- 【栃木】 栃木1 【群馬】 桐生3 / 桐生5 / 桐生14 / 桐生17 / 群馬町1 / 高崎8 / 高崎17
- 【千葉】 市川6 【神奈川】 横浜99 / 横浜116 / 横浜133
- 【富山】 高岡28 【岐阜】 岐阜11 / 多治見1
- 【静岡】 豊田1 / 御殿場・小山地区
- 【滋賀】 犬上1 【兵庫】 神戸16
- 【奈良】 生駒4 / 大和高田12
- 【和歌山】 伊都1
- 【大阪】 堺24 / 東大阪5
- 【鳥根】 浜田2
- 【福岡】 福岡19 / 福岡37 / 春日1

スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金  
**総額 ¥139,535**

ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

**総額 ¥69,842**

【群馬】 前橋15

## 日本連盟情報 Jan. 2018

## 12月上旬までの会議・研修など

## 10月

- 20日(金)～22日(日)  
 ●第60回ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA) / 第21回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)  
 ●全国県連盟コミッショナー会議(第2回)  
 21日(土) ●「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会(第3回)  
 22日(日) ●団支援・組織拡充委員会(第3回)  
 ●全国防災キャラバン2017(宮城開催)  
 27日(金)～29日(日)  
 ●CJK事務局長会議(台湾)  
 28日(土) ●第17回日本スカウトジャンボリー広報専門部会(第1回)  
 29日(日) ●日本連盟ディレクター会議(第3回)  
 ●全国防災キャラバン2017(秋田開催)  
 ●全国防災キャラバン2017(京都開催)  
 ●全国防災キャラバン2017(鳥取開催)  
 31日(火) ●信仰奨励委員会(第3回)

## 11月

- 1日(水) ●スカウトと社会をつなぐ場所(第5回)  
 3日(金) ●全国防災キャラバン2017(愛媛開催)  
 ●全国防災キャラバン2017(佐賀開催)  
 5日(日) ●全国防災キャラバン2017(山形開催)  
 ●国際委員会(第3回)  
 ●共済運営委員会(第3回)  
 6日(月) ●しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第1回)  
 7日(火) ●運営会議(第6回)

- しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第2回・第3回)  
 8日(水) ●しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第4回)  
 9日(木) ●しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第5回)  
 10日(金) ●しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第6回)  
 11日(土)～12日(日)  
 ●全国組織拡充担当委員長会合  
 ●第17回日本スカウトジャンボリー全体行事専門部会(第3回)  
 12日(日) ●全国防災キャラバン2017(秋田開催)  
 ●RS部門在り方検討タスクチーム会議(第1回)  
 16日(木) ●しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第7回)  
 17日(金) ●しぜんとあそぼデイキャンプ2017 in 高萩スカウトフィールド(第8回)  
 18日(土)～19日(日)  
 ●全国事務局長会議  
 19日(日) ●全国防災キャラバン2017(群馬開催)  
 ●全国防災キャラバン2017(千葉開催)  
 ●全国防災キャラバン2017(石川開催)  
 23日(木) ●第17回日本スカウトジャンボリー総務専門部会(第2回)  
 ●第17回日本スカウトジャンボリープログラム専門部会(第1回)  
 ●全国防災キャラバン2017(山梨開催)  
 23日(木)～25日(土)  
 ●団委員実修所第21期  
 23日(木)～26日(日)

- ウッドバッジ実修所ボーイスカウト課程第194期  
 25日(土) ●臨時県連盟代表者会議  
 25日(土)～26日(日)  
 ●RCJ運営会議(第3回)  
 ●スカウトソング研修会(愛知会場)  
 26日(日) ●スカウト教育推進会議(第3回)  
 ●全国防災キャラバン2017(山口開催)  
 26日(日)～1月13日(土)  
 ●オーストラリア交換留学生受け入れ

## 12月

- 2日(土) ●第24回世界スカウトジャンボリー派遣実行委員会(第2回)  
 ●全国防災キャラバン2017(高知開催)  
 2日(土)～3日(日)  
 ●県連盟ディレクター研究集会  
 ●RCJ野営大会(仮)実行委員会(第2回)  
 3日(日) ●コミッショナー活動活性化検討タスクチーム会議(第5回)  
 ●日本ジャンボレット高萩2017実行委員会(第8回)  
 5日(火) ●日本連盟創立100周年記念事業準備委員会(第5回)  
 ●運営会議(第7回)  
 9日(土) ●第17回日本スカウトジャンボリー配給・食堂専門部会(第3回)  
 9日(土)～10日(日)  
 ●第17回日本スカウトジャンボリー会場運営専門部会(第1回)

## スカウティングの 知っててちょっと良い話 No.46

ボーイスカウト日本連盟常務理事 吉田 俊仁

明けましておめでとうございます。今年も「知っててちょっと良い話」がんばりますので、よろしく願いいたします。

## スカウトソング「夜の歌(新世界より)」には2番があった。

ボーイスカウト歌集では、「夜の歌(新世界より)」作詞：堀内敬三(1897-1983)となっているこの歌は、ドボルザーク(1841-1904)が作曲した交響曲第9番(新世界より)第2楽章の主題のメロディーに、弟子のウィリアム・A・フィッシャーが歌詞をつけ、1922年「Goin' Home」という題の歌曲として発表したものです。この歌は、「遠き山に日は落ちて」「家路」などの曲名で現在でも広く歌われています。フィッシャーの歌詞(一部)を紹介します。

Goin' home, goin' home,  
 I'm a goin' home;  
 Quiet-like, some still day,  
 I'm jes' goin' home.  
 It's not far, jes' close by,  
 Through an open door;  
 Work all done, care laid by,  
 Goin' to fear no more.  
 Mother's there 'spectin' me,  
 Father's waitin' too;  
 Lots o' folk gather'd there,  
 All the friends I knew,  
 All the friends I knew.  
 Home, I'm goin' home! (以下略)

日本ではこれを原詩として、実に14人の作詞家が歌詞をつけています。その一人が堀内敬三です。堀内は東京生まれ、「浅田飴」のオーナー堀内伊太郎の三男で、アメリカに留学し、機械工学、音楽、応用力学を学びました。本人は音楽の道に進むことを志望していましたが、生家の賛同が得られず、帰国後の1926年に作詞した慶応義塾大学応援歌「若き血」のヒットにより、音楽家になることを父から許されました。スカウトソングでは、「光の路」「そなえよつねに」の作詞をしています。両曲ともスカウトの本質を捉えたすばらしい歌詞です。東京連合少年団教務部編の「健児唱歌」によれば、「光の路」は3番まであり、3番は「大君のみめぐみは 天照るひかり この光身にそへて しるべとなさん 光の路をふみゆくわれら……(以下同じ)」です。また、「そなえよつねに」の歌詞は当初は次のようでした。1番：秋津洲に生れ出でし健児よ 誉高き国のために そなへよつねに 2番：皇君の御慈しみに健児よ こたへまつる心をもて そ

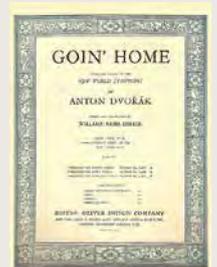
なへよつねに 3番：「ボーイスカウト」が「健児よ」で、後は現在の2番の歌詞と同じです。彼に作詞を依頼したのは、二荒芳徳、あるいは三島通陽のどちらかでしょう。2人とも堀内と交友がありました。

さて、先述の「夜の歌(新世界より)」には2番があり、下記のとおりです。

「やみに燃えし かがり火は 炎 今は鎮まりて 眠れ安く いこえ(憩え)よと さそうごとく 消えゆけば 安き 御手に 守られて いざや 楽しき 夢を見ん 夢を見ん」

ほんとうにキャンプファイアの最後にふさわしい、心が静かに落ち着く歌詞だと思います。みなさんも歌ってみてはいかがでしょうか。

W.A. フィッシャー  
 「Goin' Home」



※「夜の歌」JASRAC出 1714396-701

**維持会員 (敬称略)**

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

**ご支援ありがとうございます 2017年9～10月度**

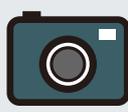
- 【北海道】**  
 浅倉 祥弘 中島 静香  
 長岡 正彦 相川 宗一 鈴木 秀男  
 BS苫小牧2 山本 誠一 入江 生夫  
 北見BS育成会 村山 至 堀野 浩伸  
 BS札幌地区委員会 上山 芳範 岡田 勇次  
**【青森】**  
 山井 良夫 高田 淳彦  
 高瀬 厚太郎 BS久喜1 小町 國市  
 川島 明 BS久喜13 東 政和  
 照井 大観 BS埼玉連盟 森谷 治男  
 今 淳 総務委員会 岸 伊佐雄  
 芝田 崇夫 BS埼玉連盟 井垣 光弘  
**【岩手】**  
 野営・行事委員会 唐橋 聡  
 大坊 章 村山 至  
 BS水沢3 中川 義夫 BS北1  
 諏訪神社 木村 政夫 BS杉並12  
 菱和建设(株) 神谷 義文 BS練馬地区  
**【宮城】**  
 若生 義行 **【新潟】**  
 渡辺米穀店 曾根田 博 金澤 理久夫  
 渡辺多喜子 高橋 雅彦 小間 守  
**【秋田】**  
 大野内 幸久 小野寺 克文 馬場 幸雄  
 川尻 孝紀 阿部 猛郎 大野 嘉彦  
 安田 孝司 最首 守雄 (株)新潟総合学院  
 乳井 豊彦 鷗澤 弘明 石本 金属(株)  
**【福島】**  
 増子 恵二 脇本 直哉 水野 四郎  
 黒木 晃 西辻 和夫  
**【茨城】**  
 吉永 行輝 黒木 晃 浜本 茂樹  
 池田 正 橋本 広茂 **【福井】**  
 鈴木 弘治 大熊 重男 清水 正喜  
 平澤 正則 木村 耕三 矢村 賢司  
 立原 久 山本 忠久 中島 志郎  
 若生 悦男 瀬戸 清規 高野 隆治  
**【栃木】**  
 藤本 欣司 赤羽 今朝男  
 新保 洋興 矢島 巖 **【岐阜】**  
 根岸 進一 木村 芳郎  
**【群馬】**  
 高松 富雄 水野 英明 川田 基弘  
 小松 俊一 須藤 守之 上田 明範  
 中曾根 秀 畑 正幸 松下 智行  
**【埼玉】**  
 BS横浜131 三浦 英夫  
**【山梨】**  
 星谷 光市郎 山梨 一芳 工藤 琢也  
 三日月 勝三 山岸 一芳 松岡 弘道  
 浅見 弘明 才郷 正次 太田 晃  
 時計 一利 大橋 仁 若園 輝夫  
 安藤 政子 大橋 仁 広瀬 之彦

- 堀 栄司 須田 克巳 宮田 委宏  
 安藤 和雄 BS名古屋82育成会 小林 義一  
 塩屋 節次 BS名古屋101育成会 笠原 章雄  
 古家 章 BS岡崎2甲山育成会 小玉 一夫  
 古家 恭子 BS名古屋22 北勝 康秀  
 金子 住弘 BS豊川4 代谷 誠宏  
 工藤 琢也 BS岡崎13 松尾 光明  
 廣瀬 重幸 BS瀬戸6 南波 芳樹  
 藤原 賢治 BS豊橋9 佐々木 元  
 BS多治見1 くるみ亭 畑山 清治 進藤 勝人  
**【三重】** 丸尾 洋一  
 橋本 善弘 高橋 誠 小林 恭子  
 高橋 尚美 森 久司 枝根 秀男  
 宮崎 律子 永井 裕介  
 BS松坂1 武貞 健治  
 (株)新津小児科 平野 進  
**【滋賀】** 森地 一夫  
 山本 健二 倉本 武司  
 嶋田 寛 松井 清裕  
 湯 昌美 毛房 純治  
**【京都】** 諸戸 純治  
 西村 伸次 菅長 薫  
 池村 将勝 辰己 豊  
 篠田 常生 田頭 英一  
 田中 公郎 藤田 智之  
 同志社大学スカウト 岸上 敏之  
 OGOB会 大古 和子  
**【兵庫】** BS神戸47  
 杉本 光俊 **【奈良】**  
 山田 明良 豊田 敏雄  
 野上 一恵 坂口 幹彦  
 池田 純雄 森田 良輔  
 南平 栄一 辻村 泰善  
 荒西 邦治 細川 恵司  
 平池 邦夫 唐橋 聡  
 西脇 龍荘 佐藤 之雄  
 福岡 修一 BS生駒8  
 喜田 浩巳 BS奈良19  
**【和歌山】**  
 伊賀 政雄 奥田 雅晴  
 岩槻 未男 山内 弘子  
 山村 利勝 竹内 弘子  
 光永 宣之 森本 英明  
 小林 昇 下坂 訓義  
 能登 祐一郎 大谷 真二  
 中村 正寿 (株)いちご啓蒙会  
 三谷 晴彦

- 【大阪】**  
 瀬 康匡 遠石 八幡宮  
 高見 篤志郎 **【香川】**  
 伊東 徹二 松平 頼武  
 谷口 修 丸山 豊史  
 片山 和俊 高橋 真昭  
 山口 茂 西田 賢二郎  
 福田 雅之 BS松山16  
 中野 正 **【高知】**  
 BS豊中2 澤村 民興  
 BS枚方9育成会 BS枚方9育成会  
 豊中カトリック スカウト育成会  
 大阪スカウトクラブ **【福岡】**  
 熊本 幸雄  
 丸林 茂夫  
 阿津坂 秀人  
 伊藤 紀久美  
 三河尻 和夫  
 BS筑紫2育成会  
 筑紫農業協同組合 **【長崎】**  
 松尾 和希  
 (株)表心会 小島居病院  
**【岡山】**  
 森定 齋  
 (株)山下体育社  
 平井ビル(株) 芳山 憲祐  
**【広島】**  
 沖 純次 **【宮崎】**  
 小鷹狩 正八 津曲 睦巳  
 平野 宏一 **【鹿児島】**  
 伊東 清寛  
**【山口】**  
 磯部 勝由 **【沖縄】**  
 清網 秀信 伊波 盛英

**マンスリーサポート維持会員**  
 毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。  
<https://www.scout.or.jp/kifu/index.html>  
 9～10月にお申し込みいただいた方々です。

**【千葉】** 片寄 朗 塩月 崇雄 **【日本】** 片平 紀行  
**【静岡】** 白鳥 素也 牧野 勲夫 木本 史郎  
**【東京】** 熊谷 豊 **【山口】** 坂口 昇次  
 佐藤 武信 鶴永 博文



**第45回 全国ボーイスカウト写真コンテスト作品募集**

**2/28(水) しめきり**

全国ボーイスカウト写真コンテストも、今回で45回を数えることとなりました。仲間と一緒にスカウト活動を楽しんでいる様子を写真に収めてご応募ください。たくさんのご応募、お待ちしております。

**【締め切り/平成30年2月28日(水) 当日消印有効】**

**テーマ/「ボーイスカウト」**  
 サブテーマ:「笑顔」「野外活動」「友情」、少年の部はテーマ自由

■部門「少年の部」中学生以下、「青年・成人の部」高校生以上 ■サイズ サービス判以上四つ切り以下 ■応募方法 写真の裏に応募用紙を貼って送ってください。 ■審査委員長 田沼武能氏(写真家) ■主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 ■発表 「スカウティング」誌5月号に掲載(入賞者には直接通知します)。  
**【応募上の注意】** ○応募作品は、2017年1月以降に撮影した未発表のもので、肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者(未成年の場合はその保護者)の承諾を得てください。なお、被写体となった方の個人を特定できないよう、名札類・団号章などの画像は処理加工を施す場合があります。○応募作品は返却いたしません。○データのみ応募は、受け付けできません。○入賞作品は、ネガ(ポジ)フィルムやデータの提出をお願いします。○応募作品は、入賞発表の他に日本連盟の印刷物等に掲載することがあります。 ■応募・問い合わせ先 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局 社会連携・広報部

<b>第45回 全国ボーイスカウト写真コンテスト</b>		応募部門	少年の部・青年成人の部
タイトル			
(フリガナ) 名前	年齢	住所 〒	都道府県
連絡先	電話番号	メールアドレス	
作品についてのコメント			
ボーイスカウト加盟員は記入			
登録番号:	所属:	第 団	隊 役務

**【応募用紙】** ※点線で切り取って、写真の裏に貼ってお出してください(コピー可)。



# 新 春 弥 栄

<p>第17回日本スカウトジャンボリーの成功をお祈りいたします</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 世界救世教 教主</p> <p><b>岡 田 陽 一</b></p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 世界救世教 宗家</p> <p><b>岡 田 真 明</b></p>	<p>謹賀新年 日台スカウト交流 よろしくお祈り致します</p> <p>中華民國台湾スカウト連盟 理事長 <b>林 右昌</b> 秘書長 <b>蘇 德祥</b></p>	<p>スカウティングの価値を再確認致しましょう!</p> <p>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 副理事長</p> <p><b>水 野 正 人</b></p>
 <p>謹賀新年 平成30年 元旦</p> <p><b>小 町 國 市</b></p> <p>東京連盟副連盟長 日本連盟理事 昭島第一団団委員 名誉会議議長</p>	<p>謹賀新年 愛知連盟 連盟長</p> <p><b>岡 谷 篤 一</b></p>	<p>謹賀新年</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 理事 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会 委員長</p> <p><b>増 田 秀 夫</b></p>
<p>賀春 昨年奥島理事長より「非常事態宣言」が寄せられました。 “10本の矢(新加盟員確保)”と “中途退団抑止策”は車の両輪 運動の真価を浸透させましょう!</p> <p>ボーイスカウト日本連盟財務委員会副委員長 千葉県連盟名誉会議議長 市川・浦安地区協議会長</p> <p><b>森 屋 啓</b></p>	<p>スカウト運動の活性化は より良いスカウトの育成にある。</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 ボーイスカウト群馬県連盟 副連盟長</p> <p><b>新 藤 信 夫</b></p>	<p>奉賀新年</p> <p><b>荒 尾 雅 也</b></p> <p>東京連盟日黒第7団団委員 ボーイスカウト日本連盟 相談役 世界スカウト財団理事</p>
<p>謹賀新年 横浜第87団団委員長 神奈川連盟みなと地区協議会長 元世界スカウト委員</p> <p><b>鈴 木 武 道</b></p> <p>〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町1098 tobysuzuki@gmail.com http://tobys.co.jp</p>	<p>謹賀新年 京都連盟創立103年</p> <p>日本連盟 参与 京都連盟 相談役 京都第77団団委員</p> <p><b>羽 生 田 寂 裕</b></p>	<p>賀正 「先人にまなぶ」シリーズ第3作 「中村知(ちーやん)にまなぶ」を刊行しました</p> <p>日本連盟顧問・創立100周年記念史編纂委員長</p> <p><b>鈴 木 國 夫</b></p>
<p>本年発団35周年! 団運営者育成教本作成開始!</p> <p>ボーイスカウト沖縄県連盟浦添第3団</p> <p>団委員長 <b>城 間 剛</b></p> <p>〒901-2103 沖縄県浦添市仲間3-4-3 TEL 080-1746-1401 saj-okiura3@nirai.ne.jp</p>	<p>賀正 スカウト運動の発展は隊指導者の資質如何にあり 指導者の資質は 訓練の質・量に比例する事を知る</p> <p>神奈川連盟先達 横浜第3団</p> <p><b>武 井 重 利</b></p> <p>E-mail: jl-takei@jcom.zaq.ne.jp</p>	<p>迎春彌栄 さわやかな世界を創りましょう</p> <p>環境共育グループ ビスタワールド</p> <p>主 宰 <b>矢 島 巖</b></p> <p>E-mail: vistaiwao@world.ocn.ne.jp</p> 
 <p><b>イチャリバ チョウデー!</b> 沖縄スカウトクラブ</p> <p>顧問 阿波根 直 孝 奉 仕 古屋 政 美 川上 宰 夫 監 事 儀 保 博 信 会長 新城 信 武 会 員 奥 間 朝 彬 副会長 中山 良 正 会計 桑 江 泰 幸 〃 與古田 力 男 行事 金 城 盛 良 〃 玉 城 讓 治</p>	<p>千葉県エバーグリーンズスカウターズクラブ</p> <p>代表幹事 早 坂 典 男 会 計 花 田 健 二 副代表幹事 沢 田 悦三朗 監 査 杉 村 直 夫 〃 後 藤 芳 昭 〃 秋 屋 忠 夫 〃 小 林 道 夫 事務局長 石 澤 英 輔 〃 鴻 巣 栄 太 郎 = 会 員 一 同 =</p> <p>愛媛県連盟 松山第25団</p> <p>育成会長 村 丸 一 雄 副育成会長 檜 本 一 雅 彦 団委員長 胡 田 田 彦 限 ビーバー隊長 大 高 須 浩 具 一 子 カブ隊長 高 須 賀 具 一 子 ボーイ隊長 松 本 林 健 一 子 ベンチャー隊長 小 林 健 一 子 ローバー隊長 泉 林 惠 彦 靖</p> <p>団本部 愛媛県松山市久米窪田町 428-6</p>	 <p>立正大学ローバーOB・OG会</p> <p>会 長 <b>柳 茂 久</b></p> <p>連絡先/安西美勝 yankayoshi-asobsj@docomo.ne.jp</p> <p>大阪連盟(せんしゅう地区)貝塚第2団</p> <p>育成会長 田 端 隆 彦 団委員長 井 上 菊 信 ビーバー隊長 浦 川 徳 郎 カブ隊長 長 谷 川 雅 孝 ボーイ隊長 井 上 英 之 ベンチャー隊長 守 口 隆 二 ローバー隊長 宮 下 憲 二</p> <p>役員・団委員・指導者一同 団本部 大阪府貝塚市堀1丁目9番8号 ☎ 072-422-6133 FAX 072-422-6676</p>



# 新春 弥 栄

## 大谷スカウト連合協議会 新春 弥 栄

書記補 杉村暢浄	主事 高月沙生子	部長 木村理佳	真宗大谷派 青少年センター	会計監査 東和秀	委員 沖田淳子	委員 増田和子	委員 山縣年博	委員 井伊光紉	委員 三森孝	委員 下妻正規	委員 松田純子	委員 目幸秀子	委員 巨津善祐	委員 平野嘉彦	委員 北條亨	委員 糟谷尚治	委員 石神明	委員 黒川絃紀	委員 品田千絵保	委員 井垣光弘	委員 堀秀之	委員 小島廣子	委員 北秀継	委員 大橋友啓	委員 井上法英	委員 田代俊孝
-------------	-------------	------------	------------------	-------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	-----------	------------	-------------	------------	-----------	------------	-----------	------------	------------	------------

### 1924～ 金光教スカウト協議会 ～2018

大正13年 金光教少年団創設

名譽総裁 金光平輝	総裁 西川良典	会長 金光清治	副会長 木村広男	理事 萬野真信	理事 阿部道生	理事 萬野信一	副理事長 木村幸雄	常務理事 近藤久美子	理事 安部昭二郎	理事 金光善行	理事 湯川浩一	理事 森定信吉	理事 木村二美	理事 河端優子	理事 森奥征年	理事 古澤太朗	理事 高田輝夫	理事 居森信枝	理事 山田実雄	理事 胡子洋美
--------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	--------------	---------------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

相談役 松本光明	相談役 高橋好輝	相談役 高阪忠裕	相談役 橋本美智雄	相談役 湯川正夫	相談役 湯川壽雄	相談役 三宅光雄	相談役 木原光信	相談役 安部孝次郎	相談役 田中弘	相談役 八坂朋道	相談役 吉木美智雄	相談役 石橋啓二	相談役 安武道義	相談役 石井弘道	相談役 光本生郎	相談役 河端秀次	相談役 新阜信江	相談役 篠田常生	相談役 甲斐紀成	相談役 高田佳子
-------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

事務局 / 〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷320 金光教本部教庁内 電話 / 0865-42-3111 FAX / 0865-42-3140

### 新春 弥 栄

創立以来61年目の躍動を目指す  
日本オールドスカウトクラブ

相談役 相談	三石村大武	島田山石井藤月合村田村	あき昌智 和重洋孝耕	子圓 至夫利満一俊三博直
-----------	-------	-------------	---------------	-----------------

本年も全国大会、ジャンボリー、各地の大会で展示活動を行います

### 日本スカウト切手・メモラビリアクラブ

(旧: 日本スカウト切手協会、SMCJ)

スカウティング関係の切手、ワッペン、資料、コレクションに興味のある方はご連絡を

連絡先: smcj@outlook.jp  
〒182-0024 東京都調布市布田2-2-1-603



### 日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ

会長 松平頼武

副会長 西田徹

岐阜で開催される全国大会でお会いしましょう。

問い合わせ 柳 staff@jalys.org

Scouting x Mastery for Service



関西学院スカウトクラブは  
新体制になりました

関西学院スカウトクラブ  
会長 上道 小太郎

関西学院大学ローバース  
会長 吉岡 聖

副会長 上野 智基

幹事長 高橋 昌敏

関西学院に在籍しているスカウトの入隊大歓迎

■お問い合わせは E-mail: kgrovers@gmail.com

Twitter: kwangakurovers

三木 康彦 前会長のご冥福をお祈りします

### 日本スカウトライオンズ

会長 菅鬼津千川	副会長 福藤田中	幹事長 大石垣山	副幹事長 中村衣五	計事 十谷松尾	監事 黒田	原塚守葉	雅俊勝利	雄郎男昭弘	雅義紀和秀道	博和俊和幹	雄 (東京堀留 LC)	雄 (国分単人 LC)	雄 (東京大森 LC)	雄 (秋田山王 LC)	雄 (岐阜南 LC)	雄 (大阪難波 LC)	雄 (宇部 LC)	雄 (東京白門 LC)	雄 (東京青山 LC)	雄 (東京お茶の水 LC)	雄 (町田クレイン LC)	雄 (東京銀座 LC)	雄 (東京桜門 LC)	雄 (東京青山 LC)	雄 (東京新都心 LC)	雄 (東京五反田 LC)	雄 (東京虎ノ門 LC)
-------------	-------------	-------------	--------------	------------	----------	------	------	-------	--------	-------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-----------	-------------	-------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------

問合せ・入会申込先 / 日本連盟事務局内  
tel: 03-5805-2562 fax: 03-5805-2908  
e-mail: hello@scout.or.jp

### 日本スカウトロータリアン

会長 松平頼武	副会長 犬飼野友保	理事 鈴木秀男	理事 二上桂介	理事 太田幹浩	理事 山田明良	理事 高見篤志	理事 村上智真	理事 戸高有基	監事 増田嘉一郎	武 (東京北 RC)	武 (松本 RC)	武 (秦野中 RC)	武 (東京八王子北 RC)	武 (高岡 RC)	武 (西尾一色 RC)	武 (西宮夙川 RC)	武 (大阪天王寺 RC)	武 (柳井 RC)	武 (津久見 RC)	武 (横浜旭 RC)
------------	--------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	-----------	------------	---------------	-----------	-------------	-------------	--------------	-----------	------------	------------

問合せ・入会申込先 / 日本連盟事務局内  
tel: 03-5805-2562 fax: 03-5805-2908  
e-mail: hello@scout.or.jp

### 早稲田大学ローバースを 支援しています

東京連盟新宿第2団育成会

電話 090-7423-4543  
E-mail kanekotks@jcom.home.ne.jp

### 新春のお慶びを申し上げます

ボーイスカウト東京連盟城北地区豊島第8団

立教大学ローバース OB・OG 会一同



# 新 春 弥 栄

同志社に在籍するスカウトの入隊を歓迎します



## 同志社大学ローバースカウト隊 (京都連盟・京都第43団)

育成会長 篠田常生 (OB会長)  
 団委員長 黒木保博  
 隊長 市坪真理  
 OB会幹事長 田中公郎

お問合わせは、E-mail: boggi-papa@dance.ocn.ne.jp  
 または、携帯: 090-1912-5507 (田中幹事長) まで



## 中央大学ローバークルー (東京千代田第3団ローバー隊)

団委員長 新藤 腆和 隊長 小山 浩伸  
 育成会長 大越 武雄 主将 星 合孝則  
 お気軽にお問い合わせ下さい  
 問合せ E-mail: chuo@scout.ne.jp 携帯 090-5441-9207 (小山)

## 日本ボーイスカウト北海道連盟

連盟長 吉田源彦  
 副連盟長 大橋和子  
 理事長 大三久介  
 清 水 義明

## 明日へ!

### 北海道・東北ブロック協議会

北海道連盟 秋田県連盟  
 青森県連盟 山形県連盟  
 岩手連盟 福島連盟  
 宮城県連盟

会長 乳井豊彦  
 副会長 入間正志  
 監事 末永多水  
 ブロック選出名譽会議員 幹事 幹事 幹事  
 幹事 幹事 幹事

## 日本ボーイスカウト青森県連盟

連盟長 三村申吾  
 副連盟長 葛西正  
 理事長 入間正  
 高 淵 智晃

## 日本ボーイスカウト岩手連盟

連盟長 南部利文 副連盟長 内宮真一  
 理事長 末永正志 副理事長 奥田耕一  
 県連盟コミッショナー 小林俊将 事務局長 向井田敏宏

## 日本ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村井嘉浩 副理事長 高橋徳夫  
 副連盟長 芳賀文藏 〃 菅野五郎  
 〃 東海林良雲 (兼事務局長) 村上山葉  
 理事長 和田剛和 〃 高千穂雅義

## 日本ボーイスカウト秋田県連盟

連盟長 佐竹敬久 理事長 乳井豊彦  
 副連盟長 安田孝司 副理事長 鶴田有隆  
 〃 米田進 〃 藤原吉田  
 〃 沢屋隆世 〃 吉田

## ボーイスカウト山形県連盟

連盟長 吉村美栄子 副理事長 大沼大蔵  
 副連盟長 佐藤孝弘 〃 齋藤勉  
 理事長 富樫敏則 事務局長 野村正博

## ボーイスカウト福島連盟

連盟長 内堀雅雄  
 副連盟長 増子恵二 理事長 安齋精児  
 副理事長 国馬善郎 副理事長 夏井宏男  
 県連盟コミッショナー 大槻富寛 事務局長 関根一

## 日本ボーイスカウト群馬県連盟

連盟長 大澤正明  
 副連盟長 大新藤 正信 明夫  
 理事長 大河内川松 正由俊 美明一  
 副理事長 小藤井 俊春 洋一  
 〃 新藤堀 井 健一 剛文  
 〃 小確金 小 倉 一 豊 浩人  
 事務局長 小 倉 一 豊 浩人

## 日本ボーイスカウト埼玉県連盟

連盟長 上田清司  
 副連盟長 清水勇政  
 〃 鈴木木部 佳健 功久一  
 理事長 牛山藤谷 代子 夫之也  
 副理事長 〃 紫板山 繁政 雅  
 〃 〃 西齋角 尾 政雅  
 県連盟コミッショナー 〃 〃  
 事務局長 〃 〃

## 日本ボーイスカウト茨城県連盟

連盟長 關本正夫  
 副連盟長 竹山本 俊隆 一士  
 〃 〃 〃 千代 壽樹  
 長 老 橋 佐 本 野 木 合 田 橋 島 城  
 先 達 八 河 宮 高 中 八  
 理事長 八河宮高  
 副理事長 〃 〃  
 〃 〃  
 県連盟コミッショナー 〃 〃  
 事務局長 〃 〃

## 日本ボーイスカウト群馬県連盟

連盟長 大澤正明  
 副連盟長 大新藤 正信 明夫  
 理事長 大河内川松 正由俊 美明一  
 副理事長 小藤井 俊春 洋一  
 〃 新藤堀 井 健一 剛文  
 〃 小確金 小 倉 一 豊 浩人  
 事務局長 小 倉 一 豊 浩人

## 公益財団法人群馬県ボーイスカウト振興財団

理事長 奈良橋 俊宏  
 副理事長 河内 正 美

## ボーイスカウト埼玉県育成会

名誉会長 田部井 功一  
 会長 相川本 宗武 彦實二  
 常任顧問 川原上 孝 望  
 会長代行 井井男 澤

## (一財)ボーイスカウト茨城県連盟維持財団

理事長 立原久  
 副理事長 小林大次  
 常務理事 三浦 勉

## 日本ボーイスカウト神奈川連盟

連盟長 黒岩祐治  
 副連盟長 佐野友保  
 理事長 藤本欣司  
 副理事長 濱田雅弘  
 〃 〃 柳下木 裕令 明子  
 〃 〃 鈴木水 裕一  
 県連盟コミッショナー 〃 〃  
 事務局長 大津 省 一

## 日本ボーイスカウト新潟連盟

連盟長 米山隆一  
 理事長 南雲重良 孝弘  
 県連盟コミッショナー 〃 〃  
 事務局長 池清水 修

## 公益財団法人日本ボーイスカウト栃木県連盟

連盟長 福田富一  
 副連盟長 宇田田 富貞 一夫  
 〃 〃 〃 山 賀 一 伴 政吉  
 相談役 宇賀 源 俊 昭  
 代表評議員 源 俊 昭  
 理事長 白澤嘉宏  
 副理事長 櫻井政啓  
 〃 〃 〃 馬 上 正 利  
 〃 〃 〃 池 中 大 美 久 道  
 県連盟コミッショナー 〃 〃  
 事務局長 〃 〃

## 夢! 冒険! 笑顔! いっぱいボーイスカウト

## 日本ボーイスカウト山梨連盟

連盟長 後藤 斎 理事長 鍋谷正俊  
 副理事長 渡辺一文 副理事長 河野潤  
 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
 県連盟コミッショナー 中村 忍 事務局長 石橋 隆秀



## 日本ボーイスカウト富山県連盟

連盟長 石井隆一  
 理事長 中山 雅 之







# 新春 弥 栄

## 日本ボーイスカウト三重連盟

連盟長 鈴木 英 敬  
副連盟長 廣田 恵 子  
理事長 山本 淳 之  
副理事長 梅川 逸 幹  
県連盟コミッショナー 柴田 廣 人  
事務局長 服部 久 彦 司

## 日本ボーイスカウト岡山連盟

連盟長 伊原木 隆 太  
理事長 岡本 耕 治  
県連盟コミッショナー 廣田 裕 二  
事務局長 木多 琢 二



## 一般財団法人岡山県ボーイスカウト振興財団

評議員長 坪井 宏 通 (中国銀行専務)  
理事長 松田 久 (両備ホールディングス社長)  
常務理事 金光 善 行

## 日本ボーイスカウト香川連盟

連盟長 松平 頼 武  
理事長 天雲 俊 夫  
県連盟コミッショナー 岡岡 真 一  
事務局長 岡内 清 弘

## 日本ボーイスカウト愛媛県連盟

連盟長 三谷 幸 正  
理事長 龍田 純 孝  
県連盟コミッショナー 宮崎 雅 延  
事務局長 松崎 展 也

## 公益財団法人愛媛県スカウト運動維持財団

代表理事 関 宏 成  
業務執行理事 宮内 正 民



## ボーイスカウト日本連盟 医療チーム 幹事会

水谷 恵 至 (愛知)  
平岩 邦 彦 (福井)  
松嶋 敏 恭 (香川)  
嶋田 和 理 (京都)  
西田 理 由 (京都)  
三原 千 和 (茨城)  
原一 之 瀬 (兵庫)  
中村 嶋 山 (東京)  
村山 山 邊 (埼玉)  
渡邊 上 文 (岐阜)  
村 上 文 章 (埼玉)  
村 上 文 章 (神奈川)  
村 上 文 章 (愛知)  
村 上 文 章 (東京)

## 日本ボーイスカウト京都連盟

連盟長 山田 啓 二  
副連盟長 柳澤 傳 篠田 常 生  
理事長 高木 清 隆  
副理事長 田中公 郎 西村 伸 次  
理事 中川 久 徳 北川 裕  
〃 檜原 良 高島 朗  
〃 猪岡 敏 一 津田 繁  
〃 前田 正 博 熊井 猛 浩  
〃 西田 章 夫 中島 齋  
〃 布崎 志 郎 高林 伸 樹  
〃 荒堀 淳 嗣 三木 一 暁  
県連盟コミッショナー 岸本 正 弘  
名誉会議員 平井 文 雄 津田 容 太 朗  
〃 柴 佳 伸 辻野 正 通  
〃 前田 健 世 石田 幸 史 郎  
監事 森川 勇 一 安達 昌 成  
事務局長 浅川 栄 治 郎

## 日本ボーイスカウト福岡県連盟

連盟長 小川 洋 (福岡県知事)  
副連盟長 高武 辰 行  
理事長 浦田 健 司 結城 利 章  
副理事長 長尾 時 男 郡島 三 暁  
副理事長 森永 信 一 路 坂口 亮 二  
副理事長 藤田 俊 郎 小山 俊  
理事 阿部 智 起 監事 石内 英 光  
理事 井手 直 秀 監事 富田 康 彦  
理事 小川 栄 一 監事 御田 良 和  
理事 大熊 飛 鳥 事務局長 堤 寛  
理事 倉成 佳 代 子  
理事 中村 一 孝  
理事 山路 卓

## 新春 弥 栄

### 日本ボーイスカウト広島県連盟

連盟長 山 下 隆  
副連盟長 酒井 幸 廣  
先達 木村 田 幸 廣  
相談役 福沖 純 浩  
〃 登世 岡本 純 浩  
〃 橋工 岡本 清 岩  
〃 西松 山 清 岩  
〃 山 下 岳 清 岩  
〃 貝 原 弘 文  
〃 角 本 伸 壽  
〃 宮 山 芳  
〃 阿 部 一 之 行  
県連盟コミッショナー 監事 〃  
事務局長 〃

### 日本ボーイスカウト山口県連盟

連盟長 村岡 嗣 政  
理事長 市川 川 政  
県連盟コミッショナー 友田 宏 熙  
事務局長 上村 宏 幸 司

### 日本ボーイスカウト大分県連盟

連盟長 広瀬 勝 貞  
副連盟長 阿南 國 康 副理事長 高 椋 清  
理事長 戸高 有 基 県連盟 真 田 康 広  
副理事長 池 辺 晴 美 事務局長 内 田 日出 男

### 日本ボーイスカウト宮崎連盟

連盟長 河野 俊 嗣 副理事長 山口 洋 一  
理事長 池本 要 〃 林 幸 孝  
〃 〃 山 本 卓 也  
県連盟 村 永 盛 哉 事務局長 河野 一 平  
コミッショナー

### 100周年記念史編纂委員会

委員長 鈴木 國 夫 (日本連盟顧問)  
金井 昭 二 (東京連盟)  
小町 國 市 (日本連盟理事)  
吉田 俊 仁 (日本連盟常務理事)  
新藤 藤 信 夫 (日本連盟顧問)



supported by VICTORINOX

マルチツールを無償でお貸出し致します。お気軽にお問合せください!

ビクトリノックス・ジャパン 03-3796-0951 (代)

なろう。一人前に。



社会連携・広報委員会

## 謹賀新年 OGAWA

代表取締役 | CEO 伊川 良雄

キャンパルジャパン株式会社 | www.campai.co.jp  
〒135-0031 東京都江東区佐賀 1-5-4 アーバンサガ 3F



# 新 春 弥 栄

| 感 | 動 | 空 | 間 | 創 | 造 |

Total Space Production

謹賀新年

感動空間創造技術でスカウト活動をお手伝いしています

第23回 世界スカウトジャンボリー (ワールド・スカウト・センター)

**TSP** TSP太陽株式会社 [www.tsp-taiyo.co.jp](http://www.tsp-taiyo.co.jp)  
 東京：03-3719-3721 大阪：06-6306-3150

札幌・仙台・福島・茨城・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・三重・金沢・福井・岡山・広島・山口・松山・福岡・鹿児島 Tokyo Head Office・Osaka Branch

**TRY** CO.,LTD 代表取締役 立川勝得

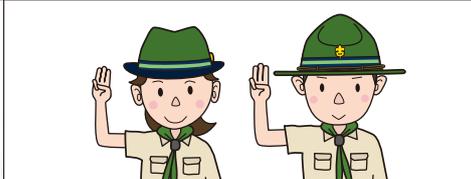
**共立印刷株式会社**  
代表取締役社長 篠原憲一

株式会社 博進企画印刷  
代表取締役 浅井美博

ヒューマン・アカデミック・テクノロジー株式会社  
代表取締役 浅井大恵

**ICOM** 謹賀新年

アイコム株式会社はボーイスカウト日本連盟の活動を応援しています。



新春弥栄 円石コンサルタント(株)  
代表取締役会長 池田和子  
代表取締役社長 川久保政茂  
(稲門スカウト倶楽部)  
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1

謹賀新年 **Yakult**  
株式会社ヤクルト本社  
執行役員 榎良昌利  
〒105-8660 東京都港区東新橋1-1-19  
tel: 03-3574-8981 fax: 03-3575-8020

**PVC** パシフィックヴィジョン株式会社  
代表取締役社長 笹沢明宏

## 謹 賀 新 年




代表理事 奥島孝康 日本連盟 理事長

理事 西村本町 日本連盟 専務理事

〃 松小 日本連盟 評議員

評議員 新高 日本連盟 評議員

〃 藤橋 日本連盟 理事

〃 田 日本連盟 顧問

〃 田 香川連盟 参与

監事 田嘉一郎 日本連盟 監事 弁護士

事務局 吉 田俊仁 日本連盟 常務理事



一般財団法人  
**ボーイスカウトエンタープライズ**  
Boyscout Enterprise

謹賀新年

- 特別顧問 谷川道平 光文陽道 淳雄一久 浄土真宗本願寺派 門主 大阪連盟 連盟長、パナソニック株式会社 特別顧問 世界救世教 教主 一般社団法人 藍会館 理事長、神社本庁 総務、元 伊勢神宮 大司宮 金光教 教主 パナソニック株式会社 特別顧問、元 日本連盟 理事 大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 経団連 名誉会長、キヤノン株式会社 代表取締役会長 CEO 元 内閣総理大臣、BS 振興国会議員連盟 名誉会長 JXTG ホールディングス株式会社 名誉顧問 浄土真宗本願寺派 総長 世界救世教 宗家 元 日本連盟 副理事長、元 国際コミュニケーション、久米美術館 館長、元 トイツ駐留特命全權大使 元 日本連盟 専務理事、元 日本連盟 コミュニケーター、元 日本連盟 中央審議会議長 先達、元 日本連盟 常務理事、元 総務省 コミュニケーター 元 日本連盟 理事、元 総務省 コミュニケーター 真宗大谷派 宗務総長 神社本庁 総長 天台宗 宗務総長 元 日本連盟 副理事長、元 日本連盟 名誉会議議長 元 副総コミュニケーション 副総コミュニケーション 世界スカウト財団 理事、元 日本連盟 理事、元 日本連盟 事務局長 元 日本連盟 理事、元 教育本部 コミュニケーター 元 日本連盟 常務理事、元 日本連盟 中央審議会議長 元 BS 振興国会議員連盟 会長 元 日本連盟 副理事長 元 日本連盟 評議員、元 日本連盟 中央審議会副議長 株式会社電通 客員、元 日本連盟 理事 公益社団法人 ガールスカウト日本連盟 顧問 元 日本連盟 常務理事 元 日本連盟 中央審議会副議長 元 日本連盟 理事、元 国際コミュニケーション 元 日本連盟 評議員、元 日本連盟 中央審議会議員 元 日本連盟 理事、元 日本連盟 評議員 元 日本連盟 中央審議会議員 元 日本連盟 中央審議会副議長 元 日本連盟 評議員

名誉会議

- 議長 小町 國市 日本連盟 理事 北海道・東北ブロック選出 議員 濱前 川島 雅弘 関東ブロック選出 中野 俊一 中部ブロック選出 近畿ブロック選出 喜久太 中国・四国ブロック選出

- 日本連盟 コミュニケーター 監 師野木村田 功人子次寛 (理事) (副理事長) (理事) (京都) (滋賀)

- 日本連盟 コミュニケーター 監 師野木村田 功人子次寛 (理事) (副理事長) (理事) (京都) (滋賀)

- 団支援・組織拡充委員会 委員長 村田 禎章 (理事) 副委員長 田間 康弘 (北海道) 委員 浅野 武雄 (愛知) 木村 順宏 (神奈川) 佐々木 久良 (奈良) 澤平 朋宏 (愛知) 田佳代 (佐賀)

- プログラム委員会 委員長 福嶋 正己 (理事) 副委員長 赤塚 達郎 (大阪) 委員 齋藤 孝真 (東京) 神原 治志 (愛知) 高村 志一 (兵庫) 中村 友一 (愛知) 夏井 宏 (福島)

- 指導者養成委員会 委員長 山内 直元 (理事) 副委員長 松本 修造 (大阪) 委員 志津 繁 (静岡) 藤田 人繁 (京都) 吉野 五郎 (香川) 野博樹 (愛知)

- 国際委員会 委員長 西村 稔寛 (専務理事) 副委員長 嶋田 淳一 (滋賀) 委員 永井 秋二 (愛知) 大尾 千陽 (東京) 片寄 二朗 (千葉) 高橋 克光 (埼玉) 富田 信一 (大阪) 永一路 (福岡)

- 社会連携・広報委員会 委員長 磯山 友幸 (理事) 副委員長 松平 頼昌 (東京) 委員 青木 秀樹 (長野) 川瀬 美健 (大阪) 清水 俊明 (学識経験) 鈴木 純平 (埼玉) 土田 慎太郎 (山形) 山本 慎太郎 (東京)

- 「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会 委員長 増田 秀夫 (理事) 副委員長 水戸 守雅 (大阪) 委員 碓井 健文 (群馬) 宇井 太一 (千葉) 逢坂 健伸 (神奈川) 神田 三枝 (埼玉) 樽谷 徹一 (大阪) 西田 俊幸 (大阪)

- 財務委員会 委員長 戸高 有基 (理事) 副委員長 森屋 啓生 (千葉) 委員 南秀和 (兵庫) 和田 剛和 (宮城)

- 信仰奨励委員会 委員長 膳石 善卓 (コソソナー) 委員 神光 明行 (信教代表) 鈴木 卓清 (信教代表) 田中 清司 (信教代表) 宮崎 保 (信教代表)

- 共済運営特別委員会 委員長 樽谷 進 (大阪) 副委員長 岩井 裕己 (奈良) 委員 浅野 俊也 (愛知) 岡野 明一 (学識経験) 真塚 山本 夫 (東京) 本一男 (大阪)

- スカウトソング特別委員会 委員長 石原 徹 (愛知) 委員 後藤 美智子 (埼玉) 藤内 千絵 (福井) 品田 千保 (東京) 土山 和雅 (静岡) 中村 直樹 (滋賀) 村上 真裕 (山口) 山崎 裕 (広島)

公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟 SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN 〒113-8517 東京都文京区本郷1丁目34番3号 TEL 03(5805)2561 FAX 03(5805)2901 E-mail info@scout.or.jp URL http://www.scout.or.jp/

# 「未来に足りないものは、ありませんか？」

大切な資源を未来へ繋ぐ！  
リニューアル・リノベーションを  
お手伝いいたします。

私たちは創業以来、常に時代を見つめ、人の暮らしにやさしい環境づくりを目指してきました。創業100年を見据え今も変わることないその理念を、さらにその先へと受け継いでいきます。

次の時代に必要な、“生きるちから”をつくるために。

生きるちからをつくる会社  
**KABUKI**  
Since.1921



## 株木建設株式会社

本店：〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町311番地1 tel.029-248-0688  
本社：〒171-8560 東京都豊島区高田3丁目31番5号 tel.03-3984-4111

2018  
No.724  
3

### SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2018年3月1日発行

#### 特集 第17回日本スカウトジャンボリー

ジャンボリーに関する最新情報や開催地珠洲の情報など、さまざまな角度から、ジャンボリーの魅力をお伝えします。

#### なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係  
〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3  
電話 03-5805-2903 FAX 03-5805-2908 Eメール scouting@scout.or.jp

**投稿規定**／本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

#### 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2018年1月号 No.723 平成30年1月1日発行（奇数月1日発行）  
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3 <https://www.scout.or.jp>  
『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者（隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員）に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は同様の登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規 追加登録申請が承認された場合：5月号から当該月号を同封して送付（例：8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封） ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合：11月号から当該月号を同封して送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。  
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2017 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部（TEL：03-5805-2903）までご連絡ください。

## SCOUTING

### デジタル配信開始！



今月号より、機関紙「スカウティング」のデジタル版(PDF)を読者の皆さんを対象に配信いたします。デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

#### ■お詫びと訂正

下記のとおり誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

- ①「スカウト進級手帳」(8月16日初版発行) 3頁 おきて副文、3.規則 ⇒ 規律、8.信仰心 ⇒ 信仰
- ②「進歩の手引き」(10月28日初版発行) 75頁 「花はかおるよ」下段 歌詞の1番2行目の次行ヌケ、われらに名譽の重きありを挿入
- ③「スカウティング」(2017.11月[No.722]号) 17頁 災害活動支援金【東京】国分寺1 ⇒ 見舞金【東京】国分寺1

# Scout Shop

<https://www.scout.or.jp/scoutshop/index.html>

17NSJ大会記念商品のご案内です。



## 17NSJ ビッグワッペン

品番/71011  
価格/900円(税込)  
サイズ/160mm

- 大会ロゴマークのビッグワッペン
- 発売予定1/20頃

## 17NSJ ロゴピンバッジ

品番/71040  
価格/200円(税込)  
サイズ/30mm

- 大会ロゴマークのピンバッジ
- 発売予定1/20頃



## 17NSJ ロゴピンバッジ いぶし銀

品番/71042  
価格/200円(税込)  
サイズ/25mm

- 大会ロゴマークのいぶし銀ピンバッジ
- 発売予定1/20頃



## 17NSJ ロゴチーフリング いぶし銀

品番/71022  
価格/350円(税込)  
サイズ/40mm

- 大会ロゴマークのいぶし銀チーフリング
- 発売予定1/20頃



## 17NSJ ロゴチーフリング

品番/71020  
価格/350円(税込)  
サイズ/40mm

- 大会ロゴマークのチーフリング
- 発売予定1/20頃

## スカウトカレンダー 2018年 (年間行事シール付き)

品番/68418  
価格/650円(税込)  
サイズ/A4判変型



## 今年もやります！ 福袋

今年から  
始めました！  
大変お求めやすくなっております！！



### 福袋 [小]

品番/93000  
価格/3,000円(税込)

### 福袋 [中]

品番/95000  
価格/6,000円(税込)

### 福袋 [大]

品番/90000  
価格/12,000円(税込)



一般財団法人  
ボーイスカウトエンタープライズ  
Boyscout Enterprise

●スカウト用品ご購入の際は、県連盟または、お近くのスカウト用品取扱協力店にてお求めください。  
●本ページ掲載商品は直接注文でもお求めいただけます。お支払いはボーイスカウトカード (BSカード) または代金引換となります。日本連盟ホームページの「メンバー向け情報」→「ダウンロードセンター」より注文書をダウンロードのうえご注文ください。



## 24th World Scout Jamboree JULY 22 - AUGUST 2, 2019 WEST VIRGINIA, USA

一生に一度の体験を、  
かつてないほどのスケールで。

世界スカウトジャンボリーは、4年に1度開かれる世界中のスカウトが集まる大会です。  
これにスカウトとして参加できるのは「一生に一度」。

2015年に日本で開催された第23回には世界155の国と地域から約3万4千人のスカウトが集まり、世界の仲間と素晴らしい体験を共有しました。

そして今回の開催地はアメリカ。かつてないほどのスケールで、度肝を抜くアドベンチャーが待っています。



日本派遣団募集開始。詳しくは WEB をご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/24wsj/>

